特記仕様書

工事名称 市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事

工事場所 三原市宮浦一丁目

工事内容 市営宮浦北住宅1号棟の外壁改修を行う。

[工事概要]

- (1) 住棟
- · 外壁改修工事 S=2,549 m²
- ·屋根防水改修工事 S=575 m²
- (2) 物置
- ·外壁改修工事 仕上塗材 S=120㎡
- ·屋根防水改修工事 S=94.2m2
- 準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部 監修)に基づき施工する。

関係法令等本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- 建築基準法、同施行令、同施行規則
- •消防法、同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- · 労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- 建設業法、同施行令、同施行規則
- 建設工事公衆災害防止対策要綱
- 石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・その他関係法令
- 疑義変更 本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工する こと。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の 指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。

本設計図書と不整合が確認されて設計変更(増額)が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。

商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。

設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和8年2月26日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。(工事の完成通知予定日は令和8年2月13日。)

- 留意事項 ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
 - ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
 - ・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
 - ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
 - ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、 あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

1

- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領 (建築工事)」(令和7年6月24日改定)により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所(現場休息)の状況に応じた 補正係数により労務費を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議(現場事務所と市役所を想定)併用とする。現場でのWeb会議の環境設定(受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。)は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との 協議により決定する。
- ・外壁改修工事については、養生等によりバルコニー側の窓の開閉を制限するため、比較的気温の低い時期(10月頃)から着手すること。ただし、外壁劣化調査数量については、9月中に報告すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等 が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用 すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を 選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は 監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法 等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法(特定建設作業)の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である 85 デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法(特定建設作業)の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・敷地境界付近には仮囲い(高さ3m以上)を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に 交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更(減額)の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。 使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。

- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画 通りに施工すること。仮設設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に 設置すること。(※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。)
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。 (親綱は手摺とは扱わない。)
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事でって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査(書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む)について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性(JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。)による。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生 した場合は受注者の負担とする。
- ・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等 の記録に残すこと。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は 現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。(理由については、三原市内に主たを有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。)
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況(写真、進捗率等を月2回程度)を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R(2部)にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの(建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等)については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・製本図面(A3縮小版・二つ折り)として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。(縮小率約70.7%)

市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	タイトル、図面リスト		A-20	部分詳細図	1/30 1/20 1/5
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)		A-21	(改修前)屋根部分詳細図、棟番号	1/30 1/10
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)		A-22	(改修後)屋根部分詳細図、棟番号	1/30 1/10
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)		A-23	(物置)外部仕上表、平面図、屋根伏図、立面図、矩計図	1/50 1/30
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)		A-24	仮設計画図(参考図)	1/500
A-05	建築改修工事特記仕様書(5)				
A-06	外壁改修工事特記仕様書 (1)				
A-07	外壁改修工事特記仕様書(2)				
A-08	付近見取図、工事概要				
A-09	配置図	1/500			
A-10	外部仕上表				
A-11	1~4階平面図、建具配置図	1/100			
A-12	5 階平面図、建具配置図	1/100			
A-13	塔屋1・2階平面図、建具配置図	1/100			
A-14	南側立面図	1/100			
A-15	北側立面図	1/100			
A-16	西側、東側立面図	1/100			
A-17	矩計図	1/30			
A-18	階段断面詳細図	1/50			
A-19	建具表	1/50			

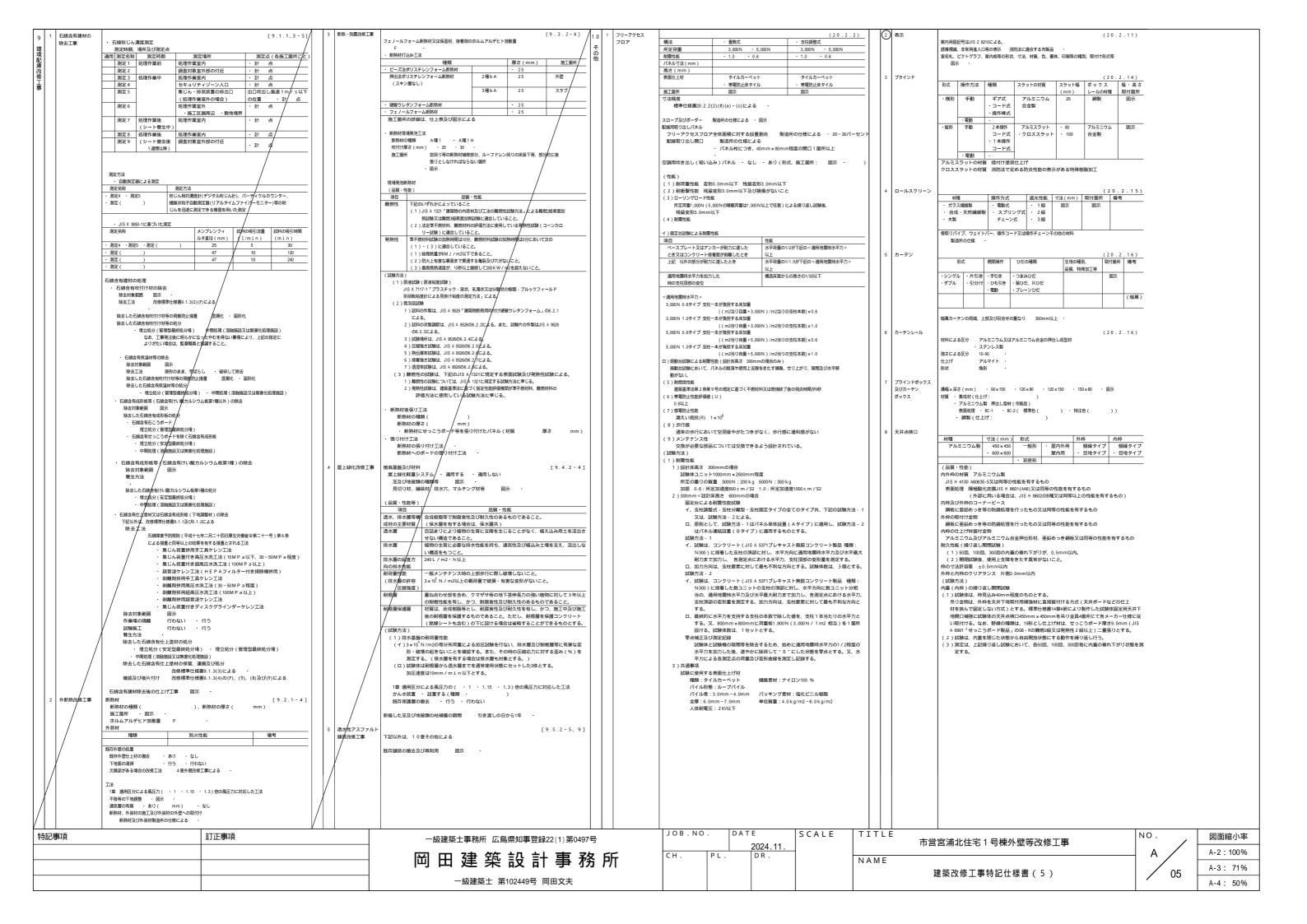
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
		1	CH. F	2024.	11.			_ A /	A-2 : 100%
		岡田建築設計事務所				NAME	タイトル、図面リスト	/ 00	A-3 : 71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫					メイドル、西面リスト	/ 00	A-4 : 50%

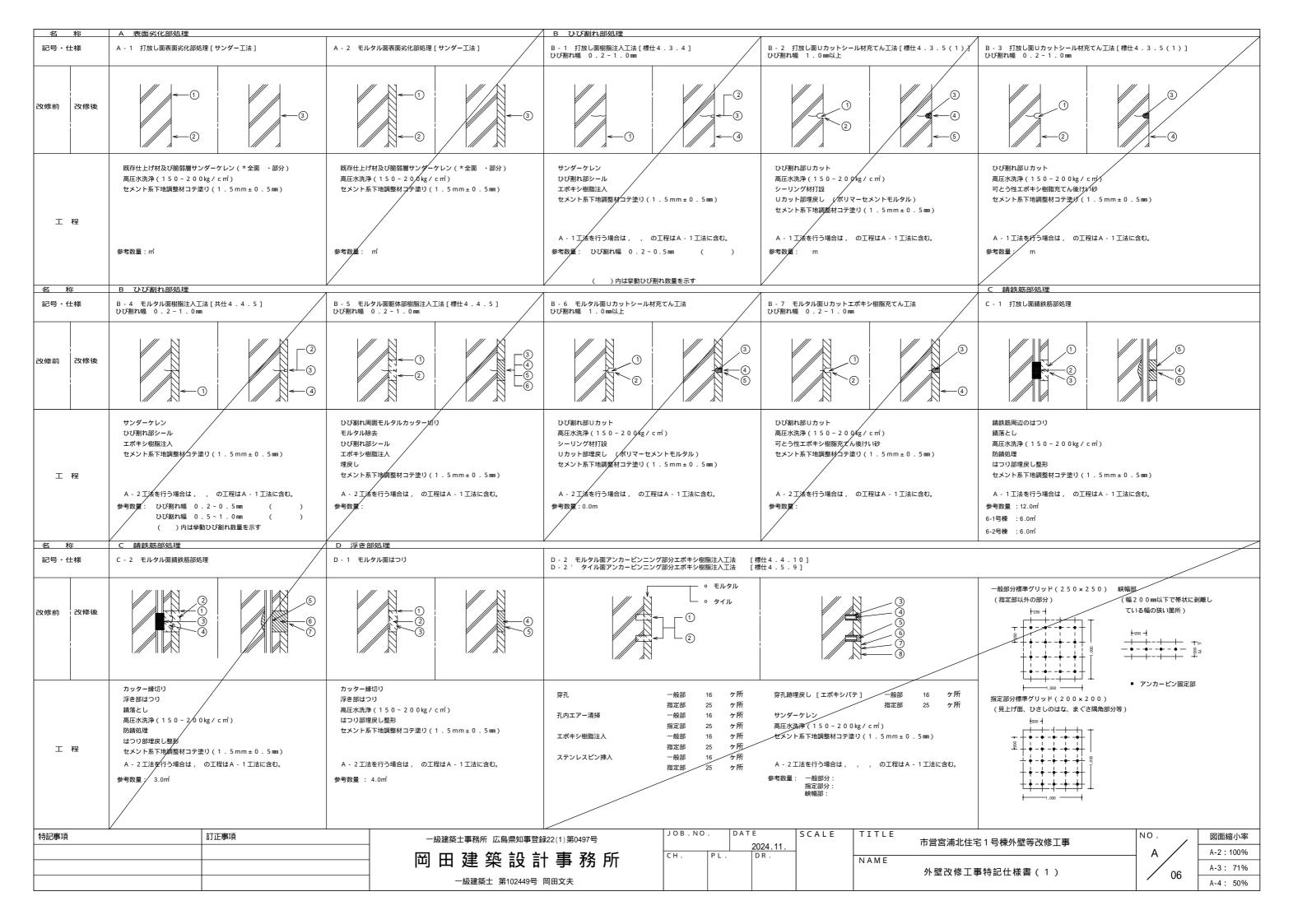
. т	事概要等			7 建設発生土	現場説明書の施工条件明示による。 - 橋内原示場所に増積	12 調査のための破壊部分の					18 電子納品	電子納品対象工事とし、「電子納品・電子検査事前チェックシー と事前に協議した対象書類について、電子媒体により提出する。		
1 2	工事名称:市営宮浦北住宅 工事場所:三原市宮浦一丁E			(8) 環境への配慮	- 欄内指示場所に敷き均し	補修 [1.6.3] 13 技能士	補修範囲 図 技能士においてに	示 は、積極的な活用を図る。	<i>ت</i> ځ.			工事電子納品要領」による。 【提出部数】 2 部		
	敗地面積:1,617.06㎡ 構造規模:鉄筋コンクリー	ト造5階建 延床面積1,896.57㎡		[1.4.1		[1.7.2]	工事種目 仮設工事	技能検定職種とび	技能検定作業とび作業		19 工事中情報共有 システム	(1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有すること 共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島	により、業務の効率化を図る情報 県工事中情報共有システム運用力	R j
		收修、防水改修、塗装改修等			(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板機圏材、MDF、パーティクルポード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗		防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作! アクリルゴム系塗膜防水工事作!			イドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム(http://chotatsu.pref.hi	oshima la in/asn/index html)	
	別途工事:無し 調査協力について				料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びステレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図離に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。				合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業			(3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス いう)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとす	提供者(以下「サービス提供者」	
	本工事は工事中及び竣工行	後、次の調査を行うため、発注者より連絡が …工事中に実施(調査票等の記入提出、発)	があれば対応すること。 主者の調査実施への協力等)		(2) 頻整剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルペンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 頻密剤は、可型剤(フタル酸ジ・ロ・ブチル及びフタル酸ジ・2・エチルヘキシル等を含有しない頻振果性の可型剤を除く)が添加されていない材料を使用する。				セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業			(4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点 うためのアンケート等が求められた場合、協力しなければな	の把握、利用にあたっての評価を	E行
	(2)契約不適合調査建 (3)公共建築物木材利用	役工事請負契約約款第53条に定める期間 事例調査票…工事中に実施(調査票の記入	ካ		(4)(1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアル デヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用した		A DEVIANT W		改質アスファルトシートトーチ」 FRP防水工事作業	工法防水工事作業	② 0 施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用格	は、発注者に委譲するものとする	5.
			き機、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。 B112日は、独和事務が京海波、 に基づき事物はチェート		ものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次		外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り	樹脂接着剤注入工事作業 左官作業 タイル張り作業		②1 設備工事との取合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督	職員の承諾を受ける。	
	(3)掘削作業前には、必っ		月12日付 建設事務次官通達)」に基づき実施すること。 図し、配線・配管の有無を確認すること。また、掘削作業時		 の 又は		建具改修工事	サッシ施工 ガラス施工	ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業		② 2 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤ		
9.3	現状復旧	物等に損傷を与えた場合は、受注者の責任!	こおいて現状復旧を行うこと。		建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料			自動ドア施工 ガラス用フィルム施工			23 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件 基準風速 Vo= m/s	を用いる。	
		し、やむを得ず工事の一部(主体的部分を			建築基準法施行令第20条の第7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基立き制定さ 10年による環境がは、10年に対象を対象により、10年により、10年に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象と		塗装改修工事 内装改修工事	塗装 タイル張り 建築大工	建築塗装作業 タイル張り作業 大工工事作業			地表面相度区分 中成12年5月31日建設省告示第1455号 別	♥()	
	(2)主要資材を購入しよ	. 原則として三原市内に営業所・本店を有す うとする場合は、極力三原市内に営業所・2 所在地及び資材名等を発注者に通知するもの	本店を有する業者に発注するものとし、		れた「広島県グリーン構入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図画表記の 範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。			建築板金	利製下地工事作業 内外装板金作業		② 4 騒音・振動の防止	「低騷音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設	機械を使用する。	
		沙については、海砂(県外産を含む)を使り		9 材料の品質等 [1.4.2				左官 内装仕上施工	左官作業 プラスチック系床仕上げ工事作!	*	② 3 施工中の安全確保	・同一場所で別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生活事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本ゴックをような。	事現場代理人を指名する。	
	內修工事仕樣				を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。			- 本芸	カーベット系床仕上げ工事作業 ポード仕上げ工事作業 壁装作業			- 労働安全衛生法第15条に基づく統括安全衛生責任者を選任した 全衛生責任者選任届出書」(任意様式)を提出すること。	とさは、	τ
	(建築工事編)(令和4年)	版)」(以下、「改修標準仕様書」という。	至官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書)による。 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様		H 9 の場合は処置物長の水底を交ける。 (3)標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法と する。		耐震改修工事	とび鉄筋施工	とび作業 鉄筋組立作業		② 6 実施工程表 [1.2.1]	工事期間は建築設備を含んだ期間とし、工事全体を把握して作成し	、監督職員の承諾を受ける。	
1		版)」以下、「標準仕様書」という。)に。			(4)本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の ~ の事項を 満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督職員に提出			型枠施工 コンクリート圧送施工			27 工程報告	別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月2回1部提出すること	•	
	(1)項目は番号に 印の: (2)特記事項は 印のつい	いたものを適用する。			して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 「日本の大学・」」		環境配慮改修工事	鉄工 配管 路面表示施工	構造物鉄工作業 建築配管作業 溶融ペイントハンドマーカーエ	事作業	② 8 保証書	次の工事について保証書を提出すること。 工事区分 材料名 保証年数 (公証年数)	備考	_
	印と 〇 印のつい	は、 印のついたものを適用する。 いた場合は共に適用する。 の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項[目、当該図▽は当該表を示す。 ■ 1 ・		品質及び性能に関する試験データを整備していること。 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 安定的な供給が可能であること。			迪图	加熱ペイントマシンマーカー工 適圏工事作業			・改質アスファルトシート防水 年 湯	水の場合等 水の場合等 水の場合等	_
	()の内表示番号	号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は 公署その他への諸手続き及び届出は、全て	当該表を示す。		法令等で定める許可、認可、認定又は免許を収得していること。 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。	14 化学物質の濃度測定		測定箇所数は図示による	る。 シレン・スチレン・エチルベンゼン	いの安中連		● ②塗膜防水 10年 湯	水の場合等 水の場合等	_
	ついて、監督職員とt	劦議すること。	低触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等に		版充、保守等の営業体制を整えていること。 (5)製造業者等では一番では、 オーバーヘッドドア オーバーヘッドドア	[1.7.9]	度を測定し	J、厚生労働省が定める	お針値以下であることを確認し、 活は施工条件明示による。					_
	(6)材料及び製造所等の記	10 数は限个回である。			鉄骨柱下開映象・フィンレ カイン・		3 0 分間	間換気	を行う場合には、次の要領で測定及		29 コンクリートの試験 (8.8.1~6)	コンクリートの強度試験 公的機関又はこれに準ずる機関で行う。ただし、調合管理強度の)管理試験用及び型枠取外し時期の	D
	項目	特	記事項		乾式保護材 フリーアクセスフロア 既調会モルタル 可動間仕切			30分間換気する。	(造り付け家具、押し入れ等の収録	納部分の扉を含む)を		決定用については、生コン工場試験室でもよい。		
1 (1)	適用基準等	公共建築工事標準仕様書(建築工事編 建築工事標準詳細図 国土交通省官房	(a) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版)		既調合目地材 移動側仕切 ルーフドレン トイレブース 吸水調整材 天井点検口		の後、	測定対象室のすべての	窓及び扉を5時間閉鎖する。 れ等の収納部分の扉は開放したまま	まとする。	30 工事区分	工事区分表による		
般共通		建築工事公衆災害防止対策要綱	建設副產物適正処理実施要領(広島県土木局制定) 再生資源利用促進実施要領(広島県土木局制定)		A			D状態のままで測定する。		A (= 1, 12				
真		県産木材の利用促進に関する指針			自動産機構 屋上線化システム 自閉式上吊り引戸機構 トップライト		tri −	うえない場合は、8時間	4時間とする。ただし工程等の都台 測定とする。なお、8時間測定の均 よう、10時30分~18時305	場合は、午後2時~3時	2 1 騒音・粉じん等の		[2 . 1 . 3]	
			修標準仕様書に記載のない事項は次による 版 国土交通省大臣官房官庁営繕部		重量シャッター ポリマーセメントモルタル 軽量シャッター 締鉄製ふた		ō.	E回数は1回とし、複数			仮設	防音パネル、 防音シートを取り付ける足場の設置範囲 工事に必要な範囲		
2	電気保安技術者	配置する					分析 測定対象	象化学物質を採取したパ	ッシブ型採取機器を分析機関に送付	付し、濃度を分析する。	事 2 足場等		[2.2.1][表2.2.1]]
	[1.3.3] 工事実績情報の登録		 負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サ						注意事項等の指示を受けること。 ルビリホス、ダイアノジン及びフェ	ェノブカルブを含有しない		「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に 別紙1手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」にお		
	[1.1.4]	ーピス(CORINS)に基づき、受法	に、変更、完成、訂正時に工事実績情報として 計員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行	10 石綿含有建材			(3)保温材、開	折熱材、緩衝材について	等は工場で行い十分乾燥させた後5 は、ホルムアルデヒドを発散しない			は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ① 設置する(範囲 工事に必要な範囲・ 防護シート ② 設置する(範囲 工事に必要な範囲・) ・ 設置しない) ・ 設置しない	
		の「登録内容確認書」を主任監督員に指 合とは、工期の変更、技術者の変更があ	出しなければならない。また、途中変更時の登録が必要な場 った場合とする。	調査	石綿含有建材の事前調査		(4)塗料、壁紙		着剤等で屋内に面するものについていい (い) (い) (い) (い) (い) (い) (い) (い) (い) (ては、ホルムアルデヒドを		内部足場 設置する(脚立、足場板等) i 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種	B置しない ・ D種 ・ E種	
4	施工条件 [1.3.5]	下記以外は現場説明書による。 ・施工時間帯 (指定あり)	[1.5.1	1] 第5資料(石錦分析結果報告書)		(5)屋内に面し	して用いる材料は、上記	(2)~(4)に適合した上で、打 選択するように努め、(1)の規定			C種: 利用可能なエレベーター D種: 利用可能な階段()	
		・部位別の施工順序 (図示 ・ ・工事車両の駐車場所 (図示 ・)		分析による石綿含有建材の調査 分析対象	(5) 中間検査		び時期については監督職			3 既存部分の養生	養生方法等 ② 既存部分の養生方法 ピニルシート、合板等による・	[2.3.1]	
		・資機材置場 (図示・ ・建設発生土仮置場 (図示・)		アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、 トレモライト	(6) 工事写真等		Y 職員に提出する。工事 事写真撮影要領」による	中写真及び完成写真の撮影は国土5 ものとする。	交通省大臣官房官庁営繕部		 既存家具、既存設備等の養生方法 ビニルシート等・ 既存プラインド、カーテン等の養生方法 ビニルシート等 	(取外し再取付を行う)	
(5)	工事安全計画書		「公衆災害防止対策要綱(建築工事編)を参考に、工事の施工 性的な工事安全計画書を監督職員に提出する。		分析方法 分析方法(定性) 分析方法(定量)		工事の進捗に作 (2)工事中写動	ī.	要工程の写真を期間別工事工程報告			保管場所 構内既存施設内 ・ 固定された家具等(備品、机、ロッカー等)の移動 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。		
6	発生材の処理等	・引渡しを要するもの ()		JIS A 1481-1X(IJIS A 1481-2		びその他監督制		他完成後外部から検査・確認する場 適切に写真等を整備するものとする			合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。	SIC / J MAGGE JAICA	
	[1.3.12]	・特別管理産業廃棄物(処理方法(・現場において再利用を図るもの()		- 箇所 - 箇所 - 箇所 - 箇所				所、主要室内その他監督職員が指示 PDF形式)により、18電子納品に		4 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 図示 仮設間仕切りの種別と材質等	[2.3.2][表2.3.1]]
		・再生資源化を図るもの	/ レトコンクリート塊 ・建設発生木材		- 箇所 材料が仕上連材の場合は、履ごとの分析を行うこと サンブル数 1 箇所あたり3 サンブル		(4)その他の写	- 写真				- A種 B種 ・C種 ・図示 A、B種の仕上げ材 せっこうポード(GB-R 厚さ9.5mm) ・ 合板・	普通合板 厚さ9mm)	
		 ・PCB含有シーリング材の処理 ・第一次判定 	II. PHIETONY		採取箇所 ・ 図示		隣接建物等に担 ものとする。 (5)保管	員傷のおそれがある場合	は、施工前・施工後の写真を監督制	職員の指示により提出する		A、B種の片面への塗装等 行わない ・ 行う A種のグラスウールの充填		
		採取箇所数 計 箇所 採取箇所 図示	・リング材種及び分析の要否を判定する。					- 夕等は、受注者におい	て工事完成後3年間保管すること。			行う(JIS A 6301グラスウール吸音材3: 行わない 仮設扉の種別・木製(合板張り程度)・鋼製・	:K厚50mm)	
		・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分割	析を行う。			(7) 完成時の提出図書	(1)完成図	完成図書: 1部			5 監督職員事務所等	版以中の1至200 小板(日1以1以21至2及) 新板 設ける	[2.4.1]	
		分析個数 計 箇所 ・除去処理工事 除去範囲 図示					【作成方法】	A】(全て ・ CADにて修正を行う。こ) このとき、図面枠内の適当な位置に	「完成図」と表示すること		現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による。		
		・せっこうボードの処理	記仕様書第9章環境配慮改修工事による	1 施工数量調査			施工図・保 【提出部数】二	R全に関する資料で、完成 こつ折製本(A3版	成図として提出すべきものについて 部 ・A 2 版 部)		6 工事用水	構内既存の施設 利用できない 利用できる(有償	無償)	
		・ひ素・カドミウム含有せっこうが ・製造業者に回収委託		[1.6.2	2] 調査方法 テストハンマーによる計算及び目視 ・図示 外型調査は、外型面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通しているひび割れ及び削進りの 有無についての位置及び粉壁(幅、長さ、面積)の調査を行う。		監督職員が指 建物基本	- 関する資料(保全マネ: 能定する様式で作成する。 5情報			7 工事用電力	構内既存の施設 利用できない 利用できる(有償	無償)	
		・埋立処分(管理型最終処分場 ・石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外			屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置 及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。		型式台帕	ŧ			8 仮囲い等の安全施設 9 工事現場の表示	別紙設計図による	- 7	
		再生資源化(再資源化施設)			また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し、ひび割れ等の集計表を添えて監督職員に 提出する。(必要に応じ写真等を添付する。)						9 工事現場の表示	現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置。 工事名等の表示板(900mm×600mm) ・工事概要等の説明看 仕様等の詳細は営繕課HPの「現場掲示板について」を参照のこと	(900mm×600mm)	
		理施設にあっては、廃棄物処理	に基づき許可した適正な施設(許可対象とならない中間処 法に定められた基準に従った適正な施設)で処理すること								交通誘導員	配置する ・配置しない 大型車両進入時 (1)人/日 ・常時配置 ()人		
		て適切に処理すること。(原則	選別を含む)により有用物となった場合、その用途に応じ 、県内処分) 「る費用(運搬費を含む処分費)は、前記(1)に掲げる施								11 快適トイレモデル工事	・()作業期間 ()人/日 本工事は快適トイレモデル工事(発注者指定型 ・受注者希望) であ门 「杜楽トノ・エデッ	T#
		設のうち受入れ条件が合うもの が最も経済的になるものを見込	の中から、運搬費と受入れ費(平日の受入れ費用)の合計 いんでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、再資源								Mai i best i bes	実施要領(最新版)」に基づき実施するものとする。 快適トイレチェックシートの様式は、「広島県の調達情報」の「も		
			『しない。 いうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物につい 記が課税されるので適正に処理すること。なお、広島県産業									関係の様式」に掲載している。 また、完成検査までに提出するアンケートは、「広島県の調達情報		
		廃棄物埋立税は見込んでいる。										制度関係要綱」に掲載している。		
特記事	 項					JOB.N	10. D	ATE	SCALE	TITLE			NO.	図面縮小率
. 3,254					一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号	СН.	PL.	2024.11			市営宮浦北住宅 1	号棟外壁等改修工事	A /	A-2:100%
					岡田建築設計事務所			J		NAME	ᆥᅉᇄᄵᅮᆍᆘ			A-3: 71%
					一級建築士 第102449号 岡田文夫						廷 栄仪修 上 事符	· 記仕様書(1)	/ 01	A-4: 50%

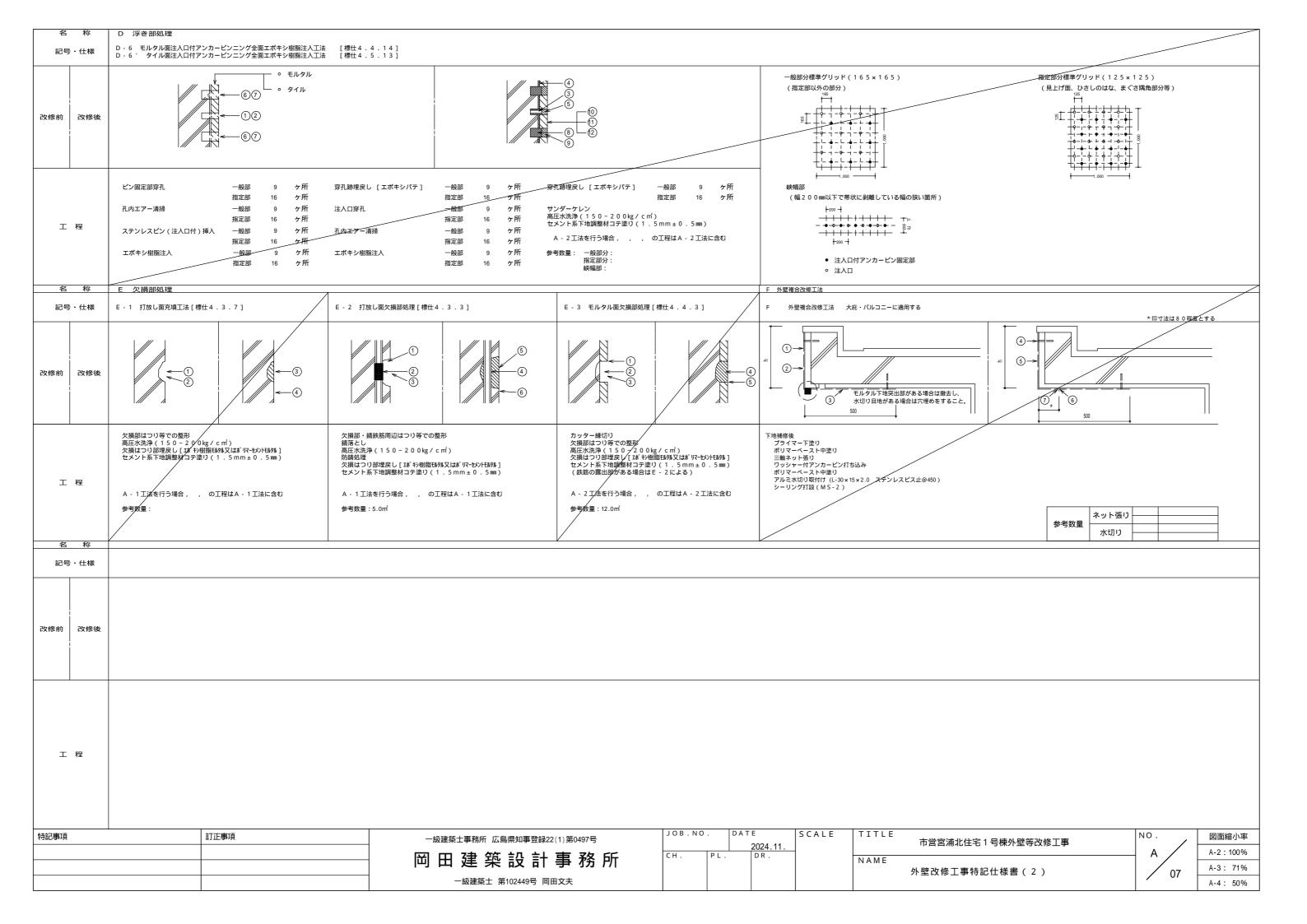
防水改修工事	降雨等に対する 養生方法 既存防水の処理 既存下地の処置 アスファルト防水	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等PS工法及UPOSI工法 (機械的固定工法) の既存の処置 改修標準性接觸3.2.6(4)(9)(9) - に 設備機器於1.6世界の火期部及U附水環末減却的株まり部の処理 圏ボ、だたし、圏ボが掘いものは監督職員と協 歴			(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(編40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を03 に成ち24時間経過した後間70出してJIS K 8123 「単化力ルシウム(試業)」に批定する活性のルシックムでは、常温車で冷却する、次に、試験片の機能側隔が140mmになるように機能を対し、その後、1/150mm以上の機能をもつコンパレーラを用して機能の反とを激定し、それを基準(11)とする、次に試験片の保証が下に止むてし、その上端が水平下590mmとなるように発持して、深温の水中に定せきする。24時間接り上後、試験片を水中心取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び機 網間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率(L)は、次式によって求める。 (L) = (12 - 11) f L1 10			別水圏の増別
		出資料の含水車			(種類) レタンフォー	- S3S - S-F1 製造所 の仕様 製造所 の仕様 ・ 適用する 設式装置 - 設けな ・ 適用する ・ 適用する 設式装置 ・ 設けな ・ 適用する ・ 適けない ・ では ・ で		ルーフドレン
		開性(Ex1) (スパン40 c m幅50 c mの中央曲げ 時に荷置2014(20時、たわみ4mm 以下となる剛性) (試験方法) (1) 寸法の測定方法 (第さ) 地球体の形辺から20mm以上内側の四隅を 点の平均値を求めてパネルの原さとする。 (編) 供試体を平らな作に置き、供試体のほぼ中外 に規定する冒煙がmmのが扱フペックスルール) 目影がmmのが設度尺を用いて測定する。 (3) 向げ保証を終め、可能が表現不上期の 3号試験体とする、幅及び厚さは製品寸法とし、支 試験体の表面からスパン中央全幅に集中海匿を顧 する、同時に破壊の中央部のたか身屋につれて、 ては、運動延縮試験解し、208、3000サイクルまでとする。) 分間で予定機大何層に達する程度とする。 (3) 筋水率試験は、JIS A 5430「維維強化センント機 (4) 難燃性試験は、JIS A 5430「維維強化センント機 (4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料	21箇所の幅寸法を、JIS 8 7512「鋼製器尺」 は、JIS 8 7516「金属性査尺」に規定する の曲げ及び重撃試験方法」による。試験体は 持スパン長とは400mmとする。試験方法は ほし、試験なが破壊した時の最大荷匿を測定 変位計を用いて測定する。測定項目につい クル戻了後の合計4項目に置って測定する。 なお、荷置を加える時の平均速度は、1~3 底」に準じて行う。	5 改領アスファルトシート筋水	Tit 種別 施工箇所 新熱材 仕上堂料 無日散反 報率の別 水 通用す 水 通用す 小 通用す 上記 上記 上記 上記 上記 上記 上記 上	防水層の種別 種別 施工箇所 本理のモルタル塗り 文字 工法 ・ S - C 1 ・ S - C 1 ・ 定達す ・ 定達す ・ 定達す ・ 定達す ・ 定達り ・ 定達り ・ でもモルタル塗り	- ル材 (報2 mm未満) Om (報2mm以上) 0m シーリング改修 シーリング改修 のmmx mm Om	所 水 面 調 査 (施 工 数 量 調 査)
特記			訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所	2024.11.	ITLE 市営 AME	営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事 A-2:100%
					一級建築士 第102449号 岡田文夫			建築改修工事特記仕樣書(2) 02 A-3: 71% A-4: 50%

4 (1) #J	Jマーセメント Jタル	(品質・性能) 項目	[4.2.2] 品質・性能	4	1 ひび割れ部改修工法	機能注入工法 [4.1.4][4.2.4、5、6、			樹脂注入工法 工法の種類		ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL	./m)	③ 仕上塗材仕上げ	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1] 建物介部に使用する塗料のホルムアルデヒド放款量
外 腔		表面の状態 ひ	以内 ▶び割れの発生が無いこと。 .0以上	2 外 壁		目動式低圧工ポキシ極態 0.2以上0.3未満 200~300 40・ 1.0 大刀法 0.3以上0.5未満 200~300 70・ 1.0 大刀法 0.5以上1.0 未満 70・ 1.0 大刀 1			自動式低圧工ポキ	キシ樹脂	0.2以上0.3未満 40 - 0.3以上0.5未満 200-300 40 - 0.5以上1.0未満 70 -			生生 化上塗材
茂 修 工			D. 0以上 .0以上 .8以上	改修工事		・手動式工パキシ銀際注入工法 0.2以上0.3未満 59.700 40 ・機械式工パキン銀際注入工法 0.3以上0.5未満 100-200 70 ・ 0.5以上1.0未満 150-250 130			手動式エポキシ根機械式エポキシ根		0.2以上0.3未満 50-100 40 - 0.3以上0.5未満 100-200 70 - 0.5以上1.0未満 150-250 130 -			呼び名 仕上げの形状 工法 防火材料 外装簿塗材E
争 共 通		低温時 0. 透水性 裏		(コンクリ		注入状況の確認方法 注入量により確認 ファウ族取りの特合の音数 長さ89mでと及びその論数につき相優 -					り確認 - コアの抜取りを行う - esoumごと及びその購款につき1個 -			・厚付け仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 丁法 上塗り材 防火材料
項)			2)高分子エマルションは、常温常湿において製造 後6か月保存しても、変質しないこと。	ト打放		コア接取りの場合の接取り部の補係方法 ポリマーセメントモルタル充填 - 展示 - リカットシール4表項工法 - シーリング材			コア抜取りの)場合の抜取り部	Souricと及びもの地数につきい間・ の補修方法 ポリマーセメントモルタル · 図示			呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材 防火材料 ・適用する ・適用する
	リマーセメント ラリー	(品質・性能) 広がり速度 長さ変化率 引張接着性	[4.2.2] 曲げ性能 吸水性 耐久性	し仕上げれ						材)種類 1成分形	マは2成分形ポリウレタン系・			○ 権層仕上塗材 排層仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 丁法 上塗り材の種類 耐候性 防火材料
		(cm/s) (収縮) (材齢28日) (%) (N/mm2)	(対齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ) (N/mm2) (%) (N/mm2) 5.0以上 15以下 5.0以上	壁)		・シール工法 パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂			可とう性エオ		セメントモルタルの充填 行う 行わない			機應達材 E
		保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00	0.094		2 欠損都改修工法	充填工法 [4.1.4][4.2.4、8] ・ エボキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		3 欠損部改修工法	 タイル部分張替え 接着剤の種類 	・ポリマーセメン	[4.1.4][4.4.5、7、8 シトモルタル ・ 外装タイル接着削張りの接着削	,		外観 つやあり
	K調整材 関合モルタル	改修標準仕様書表4.3.2による	[4.3.5]	4	1 ひび割れ部改修工	法 モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4][4.3.5、6、7、8] 樹脂注入工法	1		伸縮調整目地及	の材料 現場 なびひび割れ誘発目	器調合材料 ・ 既調合材料 地の位置 改修標準仕様書表4.4.2による ・			
		モルタル下地としたタイル工事に使用する張付 を予め工場において所定の割合に配合した材料。	け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等	3 外壁		15.000世紀 15.000世			・セメントモ	モルタルによるタイ)の工法 ・ 外装を	タル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない イル (セラミックタイル) 張り タイル (・ 密着気) ・ 改良圧着張り)			軽量骨材仕上塗材 呼び名 防火材料
		(品質・性能) 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上	項目 品質・性能 長さ変化率 0.20%以下	改修工事		・手動式工ポキシ樹脂注入工法 0.5以上0.3未満 50~100 が ・機械式工ポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 70				着剤によるタイル (行う ・行わな				
		単位容積質量 1.80 k g / L 以上 接着強さ 標準時 0.60 N / mm2以上 温冷繰り返し後 0.40 N / mm2以上	曲げ強さ 4.0N/mm2以上	(モルタル		0.5以上1.0未満 150~250 130 注入状況の確認方法 注入量により確認 コアの抜取りを行う ・			目荒し工法	・ D種類 打継ぎ目地	1・赤・ヒミログ 20-14 に及びひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 - 地その他の目地 変成シリコーン系 -		4 マスチック塗材塗り	[4.1.5][4.6.2][表4.6.1] 種別 - A種 - B種
		(試験方法) (1)試料の調製	上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げる	塗仕上げ		コア抜取りの場合の個数 長さ500mごと及びその端数につき/個 コア抜取りの場合の個数 長さ500mごと及びその端数につき/個 コア抜取りの場合の規取り部の場合方法 ポリマーセメントモルタルズ集 図示	'	4 浮き部改修工法	・ アンカーピンニン ・ アンカーピンニン	ング部分エポキシも	[4.1.4][4.4.5、9~15][4.5.9~15] 翻辑注入工法		5 外壁用塗膜防水材 塗り	[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1] 工法及び仕上げの形状
		のに要する材料と練り混ぜ水を計算してF 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方	用意する。	外壁)		・シーリング材 充填材料の種類 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う ・ 行わない			アンカーピンニン注入口付アンカー	ング全面ポリマー t ーピンニング部分3	99901/エイン (A ヒメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂注入工法 エポキシ樹脂注入工法			・吹付け (・ 凹凸状 ・ 凸部処理 ・) ・ローラー塗り (・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・) 仕上げ塗料の耐候性 ・ 耐候性 2種 ・ 耐候性 2種
		とする。 (2)保水率の試験方法	仮ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、			可とう性エポキシ修照 ・シール工法 パテ状エポキシ修照 ・ 可とう性エポキシ修照			注入口付アンカー	ーピンニング全面だ ーピンニングエボギ	ボリマーセメントスラリー注入工法 +シ樹脂注入タイル固定工法			「
		横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P380	01「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直 う製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ			 モルタルを撤去して改修 モルタル搬法後のコンクリート部分の改修は、-2 外型改修工事(コンクリート打放し仕上げ 外里)による 			アンカーピンの材	質 ステン! ・	レス網 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をし ステンレス網 (SUS304) 呼び径外径6mm程度	たもの		コンテット グリート打放し仕上げ外変機等)による。 モルタル面のUT割れ部、欠期部及び浮音部の処理は、改修特記仕様書4-3室外型改修工事(モ ルタル型のUT割れ部、欠期部及び浮音部の処理は、改修特記仕様書4-3室外型改修工事(モ ルタル型のし仕上げ外型改修)による。
		なるようにして静置する。 60分後にろ紛 方向とこれに直角な方向の長さをノギス?	ス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部に へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた を用いて、1mmの単位まで測定する。		2 欠損部改修工法	モルタル樹去後のモルタル欠損部の補機が、2 欠損部改修工法による [4.1.4][4.3.9、10]			・ タイル部分張	替え工法	セメントモルタル ・ 外装タイル接着削張りの接着削			吹付け工法の模様材の種類 - (· 所要量
		試験は3回実施し、その平均値を用いて 保水率=50/平均値×100 (注) (3)単位容積質量の試験方法				充填工法(欠損部の膨積が0.25mg/ 関所程度以下の場合) 充填材の機類 ポリマ/セメントモルタル エボキシ樹脂モルタル モルタル連絡工法			・ タイル張替え] 貼付けモルタ	工法 (下地モル: 7ルの材料	タルを撤去する場合) 現場調合材料 既調合材料 発目地 位置 改修標準仕様書表4.5.1による		District Table	
		JIS A 1171「ポリマーセメントモルタル (4)接着強さ(標準時)の試験方法 イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場	â			モルタルの材料 現場配合材料 既瀬自地材 受配			外装タイル張 ・ セメント	Eリ下地等の下地 トモルタルによる	モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 - 行う ・ るタイル (セラミックタイル)張り 外装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良種	はわない	壁改修フロー及び数量・ コンクリート打放し仕上げ外	壁の場合 既存仕上げ材の処理範囲 既存仕上げ面全体 - 図示
		N - 300を下地板とし、表面をサンドベー/ (1) で調製した試料を厚さ5mmになる	スト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 パーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに ように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミック		3 浮き部改修工法	モルタルを製在しないで改修 ・ アンガーピンニング部分エボキシ機関注入工法			• 有機系持	・ <u>:</u> 接着剤によるタイ	ユニットタイル(・ マスク張り ・ モザイクタイル張り イル (セラミックタイル)張り クリート素地面の処理		ひび割れ	外壁調査(施工数量調査) 「おります」 「おりますます」 「おりますます」 「おりますます」 「おりますます」 「おりますます」 「おりますます」 「おりますますますますます。 「おりますますますますますますますますますますますますますますますますますますます
		(外のリ寸法約300mm×300mm)」を 80%以上の状態で湿空養生を行い、これ				・ アダカーとソニング全面エボキシ機能注入工法 ・ アンカーピンニング全面ボリマーセスシトスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エボキシ機能注入工法			目荒し] シーリング材	すの種類 打継ぎ	自地及びひび割れ誘発目地 ポリウレタン系・ 関整目地その他の目地 変成シリコーン系・			Uカットシール シール工法 統統部部権修工法 (改修標準仕修書4.3.3(b))
		ダイヤモンドカッターを用いて、タイ川 シ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを持	e材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体を ル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、 接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキ試験を			・ 注入口付アンカーピンニング全面ボオキン機能注入ご法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ボガキン機能注入ご法 アンカーピンの材質 ステンレス類 (SISSO4) 呼び34mの力減で全ネジ切り加工をしたもの		5 目地改修工法	目地ひび割れâ	部改修工法	[4.1.4][4.4.5、	16] A) 0.3以上0.5未満 0m) 0.5以上1.0未満 0m) 0.2以上0.3未満 0m	0m 0m 100×300×30mm 程度
		行う。なお、接着強さの測定箇所は、記 (全てが0.6N/mm2以上を確保してい また、試験後の部材破断位置の表示を下 T : タイルの母材破断	試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 ること) 「記の中から選び明記する。			注人口付アンカービンの材質 ステンレス網 (\$\s\$304) 呼び径外径6mm		6 外壁複合改修			縮調整目地の位置及び寸法 図示・ 号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大	l c) 0.3以上0.5未満 0m) 0.5以上1.0未満 0m	0+9fi 0m
		TM: 既調合モルタルとタイルの界面を M: 既調合モルタルの母材破断 MG: 既調合モルタルと下地板の界面を G: 下地板の母材破断				モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 現場調合材料 既調合材料 ・ 充填工法 ・ エボキシ網面モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ボリストル・ボリストルー・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストルル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストル・ボリストルル・ボリストル・ボリス・ボル・ボリス・ボリス・ボリス・ボール・ボル・ボリス・ボリストル・ボルル・ボリス・ボリス・ボール・ボリ			技術評価を取得し	た工法とする				下地調整材の施工範囲 既存住上げ面全体 · 跟示 在上途材化上げ施工範囲 既存住上げ面全体 · 跟示
			タイル」の場合 スト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 パーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ち			・モルタル差替え工法 既報目地材 使用する(形状) 仕上げ厚又は全筆房が25mmを超える場合の措置 図示							・モルタル塗り仕上げ外壁の場	会 既存仕上げ材の処理範囲 既存仕上げ面全体 · 限示
		に (1) で 調製した試料を厚さ7mmに ックタイル」 に規定するタイルで押出し	なるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミ レ又はプレス成形による施ゆうの「小口タイル 18枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2 、	4		法 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁機合改修構工法の開発」において、建設大臣の 技術評価を取得した工法とする								外型調査(施工数量調査)
		湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、 (試験方法)「モザイクタイル」の場合	これを試験体とする。	4 4	1 タイルの形状、 寸法等	タイル部分張替者工法及びタイル張替え工法用賠権制の機類 [4.4.5.4] 1318 SSDによる一項反応硬化形の変成シリコーン機能所 タイルの形状、寸法等	$\frac{4}{5}$	下地処理及び	下地 工法		[4.5 処理範囲 下地面の補	修 :	ひび割れ部改修 Eルタル撤去 ・ しない ・ 3	欠積部交修 浮き部交修 アンカーピンニング注入工法
		(5)接着強さ(温冷燥返し後)の試験方法 (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小 接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と (温冷燥返し試験)「モザイクタイル」及び「、	同様とする。	外壁改		施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわくずり 役物 色 耐寒寒性 野情 顔所 (mm) の適用 類 類 類 肺ゆう無ゆう 有 具 標準 特注 有 野 り性 帰者	外壁	調整		30M P a ~ 50N		放 、 A) 0.2以上0.3未満 0m 材	カカトシール ジール工法 党領工法 モルタル (工法名) 製器入工法 製器入工法
		A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷が 試験の手順は、試験体を20±2 の水中に18時間 中で3時間冷却し、次いで50±3 の別の恒温器	製返し試験に準じて行う。 別浸せきした後、直ちに - 20±2 の恒温器	野工事 (5		耐滞け性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法 - 第12部: 耐港が性は験方法) で規定する	修工事			50MPa〜100 10MPa以上 工法	MPa 4-3 外壁改施 (モルタル塗仕上 外壁)による サンダー工法、高圧水洗工法。	If A) 0.3以上0.5末満 0m) 0.5以上1.0末満 0m) 0.2以上0.3末満 0m	0m2
		ルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間 によって調べる。		タイル張い		C.S. Rial (10.4-1.0とする。 公物の使用画所	仕上塗材		· Note CLE		・ 図示) 0.3以上0.5末満 0m) 0.5以上1.0末満 0m	Om 0m 0m 0m 0m 0m 0m 0m2
		ル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の	試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準 全てが0.4N/mm2以上を確保していること)	り仕上げ		外 装 出席、窓台、マグサ(禄華一体球型品以外は接着成型品とする) 見本焼き ・・行う(施工箇所:) だわない	仕上げが		石綿含有仕上げ塗材の	の除去は、9章環	境配慮改修工事による			下地調整材の施工範囲 既存仕上げ面全体 - 図示
		JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパ 変化率に準ずる。 (7)曲げ強さの試験方法	ージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ	外壁)	2 ひび割れ部改修工法	部験後り ・行う(施工箇所: 行わない	壁	3					- タイル張り仕上げ外壁の場合	位上達材在上げ施工範囲 既存在上げ面全体 · 図示
		JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲川 試験室の状態:試験室は温度20±2 、湿度65±			2 O STABILITY	タイルを施去して改修 下地モルタルまで都去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外型改修工事(コンクリート打放し 仕上が外撃となる		2)下地調整材	卜地調整垄材	・ポリマーセメ	ントモルタル [4.5.	. 2]	ひび割れ部改修	グ
						モルタリーを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁) による タイル搬去後のタイル欠損却の補修は、3 欠損部改修工法による							タイル撤去 ・ する ・ し	ない アンカーピンニング注入工法 ファン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィ
						タイルを撤去しないで改修						A		7克項工法 張樹工法 工法 改傳 改傳
												c c) 0.2以上0.3未満 0m) 0.3以上0.5未満 0m) 0.5以上1.0未満 0m	カッター切り
													± 1) 4-2.1、4-3.1及び4-4 A) 自動式低圧エポキシ樹脂注 <i>)</i>	.2のDび割れ部改修工法における樹脂注入工法の種類を示す 工法、B) 手動式エポキシ樹脂注入工法、C) 機械式エポキシ樹脂注入工法
特記事項	į		訂正事項			一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497			JOB.N		DATE SCALE 2024.11.	TİT	LE 市営	宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事
						岡田建築設計事務	另戶	听	СН.	PL.	DR.	NAM		# 全 全 全 全 会 と も も も も も も も も も も も も も
						一級建築士 第102449号 岡田文夫							х	

	22 合成樹脂塗床	[6.10.2、3] 横別 施工箇所 工法 仕上げの種類		・ 化粧パーティクルボード ・ 単版オーパーレイ DV		(4)接着強さ(標準時)の試験方法 イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合	An	7 ① 树料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3	1
		・ 厚膜型塗床材 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・ つや消し仕上げ		・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC		(試験体の作製)JIS A5371「プレキャス N - 300を下地板とし、表面をサンドペーバ	スト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 (一を用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに	塗装	F 防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする 次の箇所を除き防火材料とする()	
		・ 厚級型塗床材 - 薄級流しのベエ法 ・ 平常仕上げ エボキシ樹脂系塗床 - 厚級流しのベエ法 ・ 防滞仕上げ - 樹脂モルタル工法 ・ 防滞仕上げ		- 10 (発想) - 12 (養理) - 12 (養理) - 12 (養理) - ハードボード (素地) HB - 無刑器板 (・スタッグード ・テンパード RN) - 工業紙 (・スタッグード ・テンパード PS)		タイル」に規定するタイルで押出し又はブ	ように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミック プレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル 『着オス その後 20日間 沿度20よ2 湿度	修工工工工作制整工工	塗替え種別がR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7]	
		・ 側離モルグル上法		・ 研報板 (・スタンダード ・ デンパード R S) ・ ハードボード (化粧) ・ 内裏用DI ・外裏用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・		80%以上の状態で湿空養生を行い、これを	E着する。その後、28日間、温度20±2 、湿度 E試験体とする。 オ」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体を	事 素地ごしらえ	劣化部分は除去し、活膜部分は残す・ 下地調整、素地でしらえ There (基準) (2015)	-
	23 防じん用塗床	本件がのかなフルフに「ZMSMM		- インシュレーションボード IB MM(・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・		ダイヤモンドカッターを用いて、タイル周	引の7.10円看短さぬ場に乗りて行う。 ぬ場神を 引辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、 着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を		下地面の種別 塗替え 新規 UV割れ部の補格 下地調整の種別 素地ごしらえの種別 - 木部 R B 種 - A種・B 種 -	-
		工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0 . 2 5 kg/m2以上とする		天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 図示による		(全てが0.6N/mm2以上を確保している)	検体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 こと)			- -
		仕上げの種類(平滑仕上げ) 防滞仕上げ) (標準色) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 F		会飯の張付け ・A種 ・B種 せっこうボードの目地工法 仕上表による ・		また、試験後の部材破断位置の表示を下記の T : タイルの母材破断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面	M G : 医調合モルタルと下地板の界面を	断	亜鉛めっき面 R B種・・・A種・B種・・行う モルタル面、せっこうブラスター面 R B種・・A種・B種・・行う	- - -
	24 フローリング張り	[6.11.2~6] 単層フローリング				M : 既調合モルタルの母材破断 ロ)適用タイルが「小口タイル・二丁:		.	コンクリート面 (DP以外) RB種 · ・B種 ・ ・行う ALCパネル 押出版形とメント板面 (DP) ・RB種 ・RC種 ・A種 ・B種 ・ 行う	=
		種類 工法 樹種 原さ 間伐材等 (mm) の適用	27 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 [6.14.2、3]		N - 300を下地板とし、表面をサンド	・キャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平 ・ベーバーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直: Imになるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラ:	;	コングリート面 せっこうボード面 RB種・ A種・B種 -	-
		・フローリング ・ 部留め工法(根水張り) なら・・ 15・ 15・ 15・ 15・ 15・ 15・ 15・ 15・ 15・ 1		施工箇所 <u>壁紙の種類</u> 版 <u>繊維</u> 塩化 ブラス <u>無機質</u> その他 ビニル チック		ックタイル 」 に規定するタイルで排	押出し又はプレス成形による施ゆうの「小口タイル 列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2	3 錆止め塗料塗り	額止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]	-
		- フローリング ・接着工法 なら ・ 15 プロック1等		- 不感 - 幸不愿 - 難感 - 不感 - 幸不恵 - 難感 - 不感 - 幸不恵 - 難感		湿度80%以上の状態で湿空養生を行 (試験方法)「モザイクタイル」の			塗装面 塗料の種別 工程の種別 紡網面 SOP 新規見入掛り - A種 A種・ 新規見入題れ B種・ - B種・ - A種・ - A種・	- -
				モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらえの種別 B種 コンクリート面の素地ごしらえの種別 B種			『小口タイル・二丁掛タイル』とも、各々(4)		塗替え C種 - EP - G 新規見え掛け - A種 B種 A種 -	- - -
		複合フローリング 種類 工法 樹種 種別 厚さ (mm) 間伐材等 の適用	28 モルタル塗り	せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種別 8種 - [6:15.3、5、6]		接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体 (温冷燥返し試験)「モザイクタイル」及 A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.112	&び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS		新規見え隠れ B種・ 塗替え C種・	- - -
		・ 天然木化瓶複合 ・ 釘留め丁法(根太張り) なら ・ A種 ・ 15 フローリング ・ 釘留め丁法(唐張り) ・ ・ B種 ・ 12	20 (107)0至1	モルタル 現場譲合材料 鉄調合材料(材料) 鉄製目地材 : 設ける 施工箇所() 形状(図示・)		試験の手順は、試験体を20±2 の水中に1	18時間浸せきした後、直ちに - 20 ± 2 の恒温器 18時間浸せきした後、直ちに - 20 ± 2 の恒温器 18 18 18 18 18 19 19 19		DP 新規 7.4.2(1)(イ)(a)による - A種 塗替え 7.4.2(1)(イ)(b)による - A種(下地調整RA種) ② 原種(下地調整RA種)	- -
		C種 ・ 12 ・接着工法 なら ・ A種 ・ 12		・ 設けない 床の目地 ・ 設ける(目地割り 2 m2程度(最大目地間隔3 m程度)		ルとする操作を10回操返した後、試験室に によって調べる。	C2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視		亜鉛めっき網面 SOP 新規網製建具等 A種・B種・A種・A種・A種・A種・A種・A種・A種・A種・A種・A種・A種・A種・A種	<u>B</u>)
		日程 12 C種 12 12		(種類 押し目地) ・ 設けない 外表タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験		ル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試	Eザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイ 試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準		新規その他 - B種 C種	- - -
		フローリング及び接着別のホルムアルデヒド放散量		が表プイルない「Pedro Fac Lify アルミン 及び Faces 全の主が立ていた者が高級 ・ 適用する ・ 適用しない 整面の仕上げ厚又は全逢り厚が25mmを超える場合の下地処理		(6)長さ変化率の試験方法	eてが0.4N/mm2以上を確保していること) rスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ		EP-G 新規網製建具等 新規その他 塗替え - C種 - A種 - B種 - ・ C種 - C種	- -
		現場塗装仕上げ · 行う ウレタン樹脂ワニス塗り		・図示による 建具回り等の充填モルクルに使用する防水剤		変化率に準ずる。 (7)曲げ強さの試験方法			DP 新規 ・B種 塗替え	- -
		・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 行わない		(品質・性能) (試験方法)JIS A1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による		JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 試験室の状態:試験室は温度20±2 、湿度 既調合目地材		(4) 仕上げ塗料塗り	[7.5.2~7.12.2] 塗装の種類 塗装面 工程 塗替え 新規	- -
	25 畳敷き	[6.12.2]		項目		(品質・性能) 項目 品質・性能	項目 品質・性能		- 合成樹脂調合ペイント塗り 木部屋外 B種 A種 (SOP) 木部屋内 B種 B種 B種・	- -
		種別 ・A種 ・B種 ・C種 D種 (量床:・KT- ・KT- KT- ・KT- ・KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕接書表12.6.1による床組		凝結及び安定性 (凝結時間)始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性)収納性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。		長さ変化率 0.2%以下(収縮)	吸水量 50g以下 単位容積質量 1.80 kg/L以上		塗料の種類 1種 2種 芸術面 B種 A種 B種 亜鉛のっき網面 B種 B種	-
		・ ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン)		曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混したもの、しないものの曲が強度比及び圧縮強度比 70%以上 吸水比 防水剤を混したもの、しないものの吸水比 95%以下 透水比 防水剤を混したもの、しないもの吸水比 95%以下		(試験方法) (1)試験の条件 試験室は、温度20±2 、湿度65±5% RHの	D標準状態とする。また、試験に使用する材料、		(銅製建具以外) 亜鉛かき側面 A種 B種・ (銅製建具)	-
		少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型量(量表:・C1 ・C2)		ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 Pa をし1時間行う		器具などを、予め24時間以上標準状態に置 (2)試料の調整	配いた後使用する。		・クリアラッカー塗り(CL) 木部 ・A種 B種 ・A種 B種 ・A種 B種 ・A種 B種 ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り ・A種 B種 ・A種 B種 ・A種 B種 ・A種 B種	
	26 せっこうボードその 他ボード及び合板 張り	MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] F F (6.00)	29 タイル張り	[6.16.2-4] 仲細調整目地の位置 床タイル(縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・) 床タイル以外(図示 ・)		する量を計算して用意し、さらに標準加水	1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当 k量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水 R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定		(NAD) (NAD) (NAD) (NAD) (SHIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	=
	36.7	標準仕様書!9.7.2(2)(f)(の(a) ~ (d)のいずれか 種 類		・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 数エ 数を付き 面が上げる 数が面にトエの こうかくさり 20枚 A みず面が 数準			直した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投		亜鉛メッチ側面 上塗り等級()級	-
		記号 - 硬質木毛セメント板 HW - 15 - 20 - 25		商上 000 1/A (+2-504 ののサーム・10A) 24-77 0 100 C			ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、 「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直		コンクリート面及 ・A・1種・A・2種 ・A・1種 び押出成形セメン ・B・1種・B・1種 ト板面 ・C・1種・C・2種 ・C・1種	
		・ 中頭木毛セメント板 MII ・15 - 20 - 25 - ・ 普通木毛セメント板 NII - 15 - 20 - 25 - ・ 硬頭木木セメント板 HF - 12 - 15 - 18 - 21				径18.5 c m) をのせ、その中央部に真鍮製	リング型わく(内径50mm、高さ10mm、原さ3mm)で平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく		・つや有合成樹脂エマルション コンクリート面 B種・ - A種 - B種 - A - B - B - B - B - B - B - B - B - B	<u>-</u> -
		・普通木片セメント板 NF ・30 ・けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ 2 (無石綿) ・6 8		耐清り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐清り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。			が最大と認められた方向とこれに直角な方向の長		せっこうプラスター面 B種 · ・ A種 · B種 せっこうボード面 B種 · ・ A種 · B種	- - -
		1.0FK		標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う 行わない 見本焼き ・ 行う 行わない		さをノキスを用いて1mmまで測定する。 リ保水率を求める。 保水率(%)=50/平均値×100注)5	試験は3回実施し、その平均値を用いて次式によ 50:11ング型わくの内径(mm)		屋内水部 B種 A種 屋内海鉛のつき面 A種 A種 A種 A種 A種	<u>-</u> -
		- ロックウール化粧吸音板 DR ・ フラットタイプ (・9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・) - 凹凸タイプ (・12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)		型タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り		(4)単位容積質量	○○・ファンエン (.		-
		・ ロックウール吸音ボード1号 RII-B ・ 25 ・ グラスウール吸音ボード32K GII-B ・ 25(ガラスクロス包)		内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り		規定する方法で求める。 (5)長さ変化率			・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・A種 B種 ・A種 B種 ・ステイン塗り ・ビグメントスティン塗り	- -
		・せっこうボード GB-R 12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・ 不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧馬 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)		既調合モルタル		(6)吸水量	1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規ジ	,	・オイルステイン塗り (OS) ・木材保護室料塗り (WP) ・ A種 B種 ・ A種 B種 ・ A種 B種 つや有合成根照エマルションペイント塗り (コンクリート瓶 モルタル紙 せっこうプラスター瓶	- -
		・シージングせっこうボード GB-S 12.5 (不燃 ・準不燃) ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15 (不燃)		モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、編骨材、混和削 等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。			。試験体数は3個とし、その平均値とする。		せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしみ止め B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする	
		- せっこうラスボード (8-L 9.5 ・ 化粧せっこうボード (8-D 9.5(準不燃)		(品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能		タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 箇所 (mm) の適用 類 類 類 類		-	合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め B種又は12種の場合は改修標準性搭書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする - 高日財反射率塗料塗り	
		(トラパーチン模様) ・普通合板 表板の樹種名 生地、透明塗料塗り		保水率 70.0%以上		國門 (三三三) 以知此 宋明 宋明 宋明	四のゲン 無・ゲン 日 無 様平 付止 日 無	-	下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) - RA種 RB種 - RC種	-
		(ラワン程度 ·) 不透明塗料塗り		接着強さ 標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上				_	規格番号 規格名称 種類 等級 塗料塗り JIS K 5675 屋根用高日射 2種 ・1級 ・2級 ・3級 塗料製造所の	-
		(L な程度 -) 板面の品質 () 厚さ (mm) ()		(試験方法) (1)試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げる		標準的な曲がりの役物は一体成形とする 有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F	F ·		反射率塗料 仕様による クリアラッカー塗りA種の工程2の着色 ・適用ない ・適用する(着色剤:溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤)	-
		接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 (・行う ・行わない)		のに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、	30 セルフレベリング材		[6.17.2、	3]	ラレタン機関ワニス塗りの工程1の着色 ・適用しない	
		・天然木化粧合板 樹種名() 接着の程度(・ 1類 ・ 2類) 厚さ(mm)()		練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料 とする。 (2)保水率の試験方法		塗厚 (mm) 10m程度 -			・適用する(着色剤: 油性顔料着色剤 溶剤形顔料着色剤) オイルステイン塗りの工程等	
		厚さ (mm) ()		JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、 横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直						
		表面性能()タイプ 接着の程度(1類 2類)		径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ 3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰込む。 その後、声はアレング門かく・呼ばれるであるサイフェアを選出ませた。 ス MS 明公 が ト 回じ					特記仕核審(構造関係)による	_
		厚さ (mm) ()		その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部に なるようにして静重する。60分後に5紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた 方向とこれに直角な方向の長さをナギスを用いて、1mmの単位まで測定する。					**************************************	
		- ポリエステル樹脂化粧板 - ミディアムデンシティ MDF - 3 - 7 - 9 - 12 -		試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50:リング型わくの内径 mm				改修工		
		ファイバーボード		(3)単位容積質量の試験方法 JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。				事		
		パーティクルポード 10・12・15・18・								
4		ATTES				JOB.NO. DAT	E SCALE	 TITLE	1.	10
特	己事項	訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号			2024.11.		営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事	NO. 図面縮小率 A-2:100%
				岡田建築設計事務	所	CH. PL.	DR.	NAME	违你让协丁幸祉 切儿从事 /	A-3: 71%
				一級建築士 第102449号 岡田文夫					建築改修工事特記仕様書(4)	04 A-4: 50%









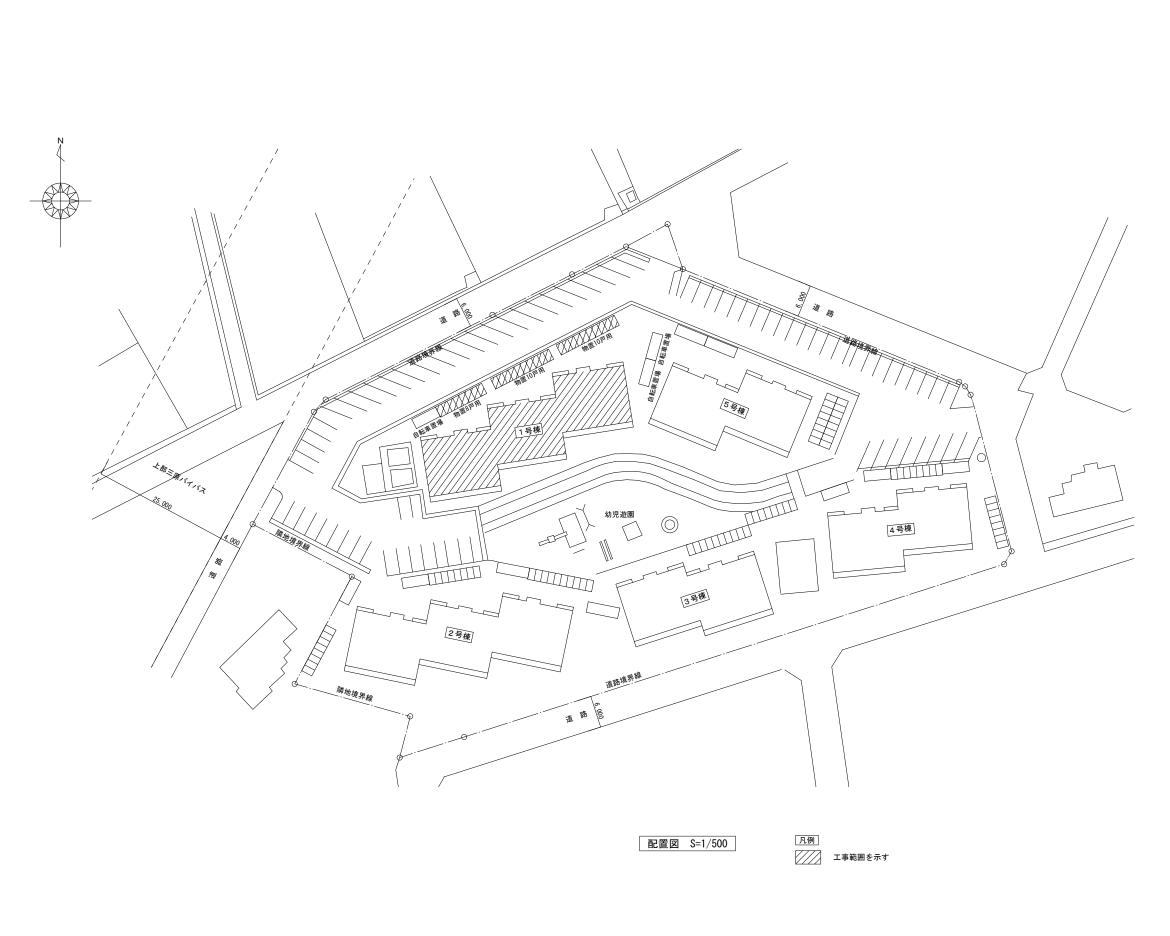


工事場所 三原市宮浦一丁目 市営宮浦北住宅

市営宮浦北住宅1号棟 工事概要 RC造 5階建 延べ面積 1,896.57㎡ 外壁改修工事 屋根防水改修工事 ベランダ防水工事 物置屋根、外壁改修工事 手すり等改修工事 縦樋、軒樋取替工事

付近見取図

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号	JOB. NO.	DATE 2024. 11.	SCALE	TITLE	市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
		岡田建築設計事務所	CH. P	L. DR.		NAME	从长月取 网,大声柳峦	A / 00	A-2 : 100% A-3 : 71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫					付近見取図、工事概要	/ 08	A-4 : 50%



特記事項

一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号

一級建築士 第102449号 岡田文夫

岡田建築設計事務所

JOB. NO. DATE 2024.11.

1/500 NAME

TITLE 市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事
NAME
配置図

図面縮小率 A-2:100% A-3:71% A-4:50%

		改修前	改修後	
場所・部	位 下地	仕 上	仕 上	備考
根回り	М	モルタル金コテ(高圧水洗浄)	複層塗材E吹付(新設)	
外壁・パラペット 軒鼻・バルコニー壁	С	アクリルリシン吹付 コンクリート打放し(既設)	複層塗材E吹付	
物置外壁	С	アクリルリシン吹付 PC板 (既設)	復層塗材E吹付	
軒裏	С	コンクリート打放し(既設)	外装薄塗材(E)吹付	
庇裏	С	アクリルリシン吹付 コンクリート打放し (既設)	外装薄塗材(E)吹付	
バルコニー天井	С	アクリルリシン吹付 コンクリート打放し (既設)	外装薄塗材(E)吹付	
バルコニー床	М	防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ポリマーセメント系塗膜防水(PA-1)	
窓台	M	防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	
面台 庇(上部分・見付・	M	防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	
物置屋根	C	PC板(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	
バルコニー・窓手す			DP塗替え	
隔で板	S 大平		DP塗替え ケイカル板. t = 6.0 DP塗装(新設)、避難用ステッカー貼替	
物干し金物	S	SOP(下地処理)	DP塗替え	
分電盤等	S		DP塗替え	
縦樋 (北側)	VP	塩化ビニールパイプ(撤去処分)	カラーVP φ 100に取替 掴み金物共SUS (新設)	
保護管	S	SGP125 φ (撤去処分)	SGP125 φ DP塗装 掴み金物共 (SUS) (新設)	
縦樋(バルコニー側) VP	塩化ビニールパイプ(撤去処分)	カラーVPφ100、φ75に取替 掴み金物共 (SUS) (新設)	
棟番号表示	8	鋼製SOP 2ヶ所 400×300 700×200 (撤去処分)	鋼製DP 2ヶ所 400×300 700×200 (新設)	
1号棟 階数表示板	/_	階数表示 16ヶ所、室名札 28ヶ所 (撤去処分)	階数表示板 (SK600A)16ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 28ヶ所 (新協和同等品)	
階段室	C M		外装薄塗材 (E) 吹付 複層塗材E吹付	
階段室天井		大平板 t = 5.0 アクリルリシン吹付(下地処理)	外装薄塗材(E)吹付	
自転車置場	8	屋根:大波スレート(撤去処分) <u>、鉄部:SOP塗(下地処理)</u>	屋根:大波スレート(新設)、DP塗替え	
階段室 (P・Sドア)	s	SOP塗(下地処理)	DP塗替え(両面)	
玄関ドア	s	SOP塗(下地処理)	DP塗替え(両面)	
目隠し		アルミパネル (一時撤去)	アルミパネル(再取付)	

特記事項	
・エアコン室外機 1号棟 29ヶ所 一時移転再取付施工後作動確認	その他外構
・BSアンテナ 1号棟 4ヶ所 一時移転後再取付	
・外部建具:建具周囲シーリング打替(共通)	
・ガラスクリーニング(共通)	

塗装面下地調整					
(イ)	亜鉛メッキ面の下地調整RB種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り				
(口)	鋼製建具面の下地調整RB種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り				
(11)	モルタル・ボード面の下地調整RB種30%				
(=)	鉄面の下地調整RB種30%の上、錆止め塗料A種、錆止め塗料塗りC種				
(木)	VE(VP)管の下地調整 汚れ付着除去程度				
(二) アルミ面は、脱脂、エッチング、スマット除去溶剤、クロメート系化成皮膜処理材					

凡例	
SOP	合成樹脂調合ペイント
AE (VP)	塩化ビニル樹脂エナメル
С	コンクリート
М	モルタル
S	鋼製
EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント
DP	耐候性塗料

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号

岡田建築設計事務所

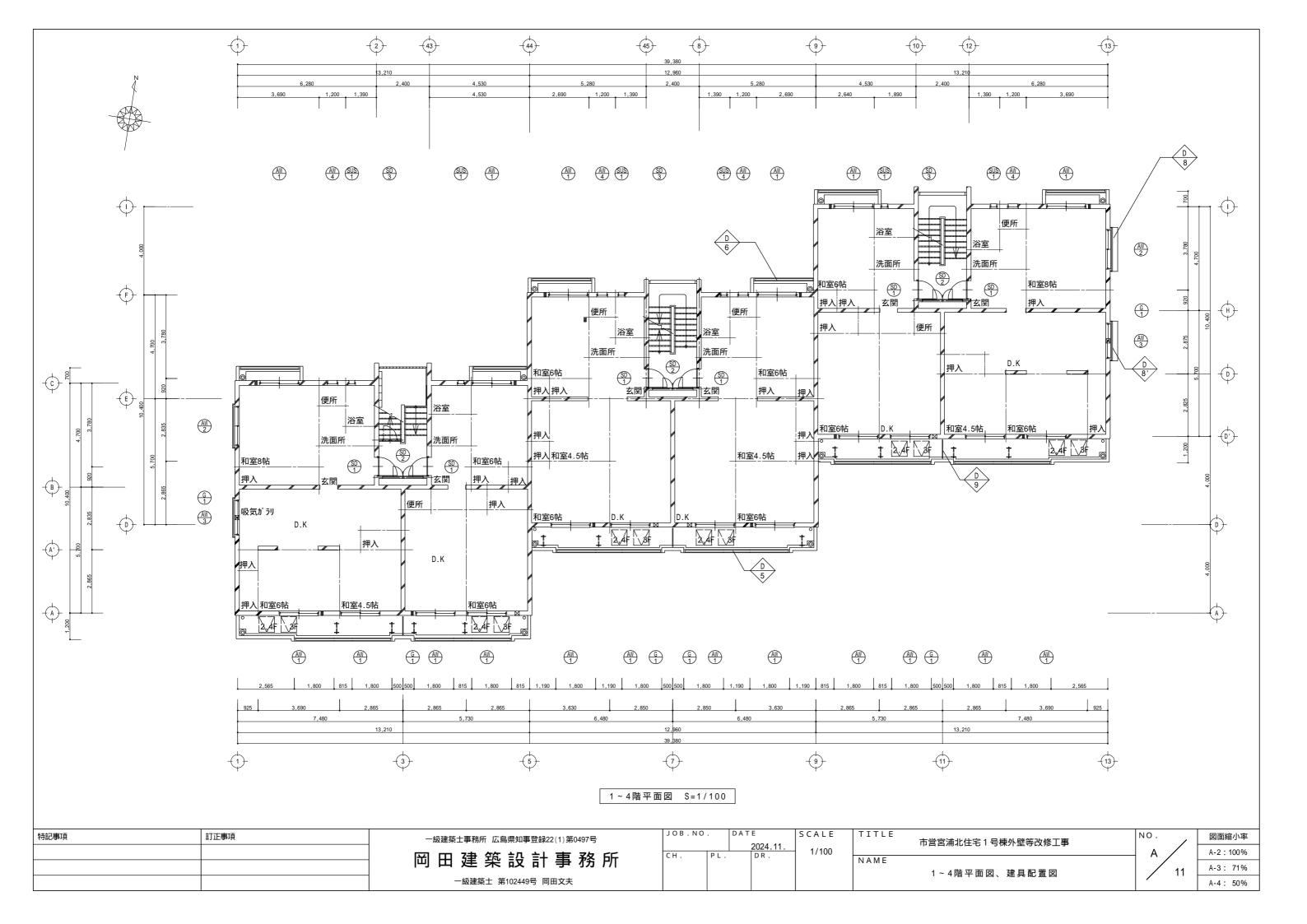
一級建築士	第102449号	岡田文夫

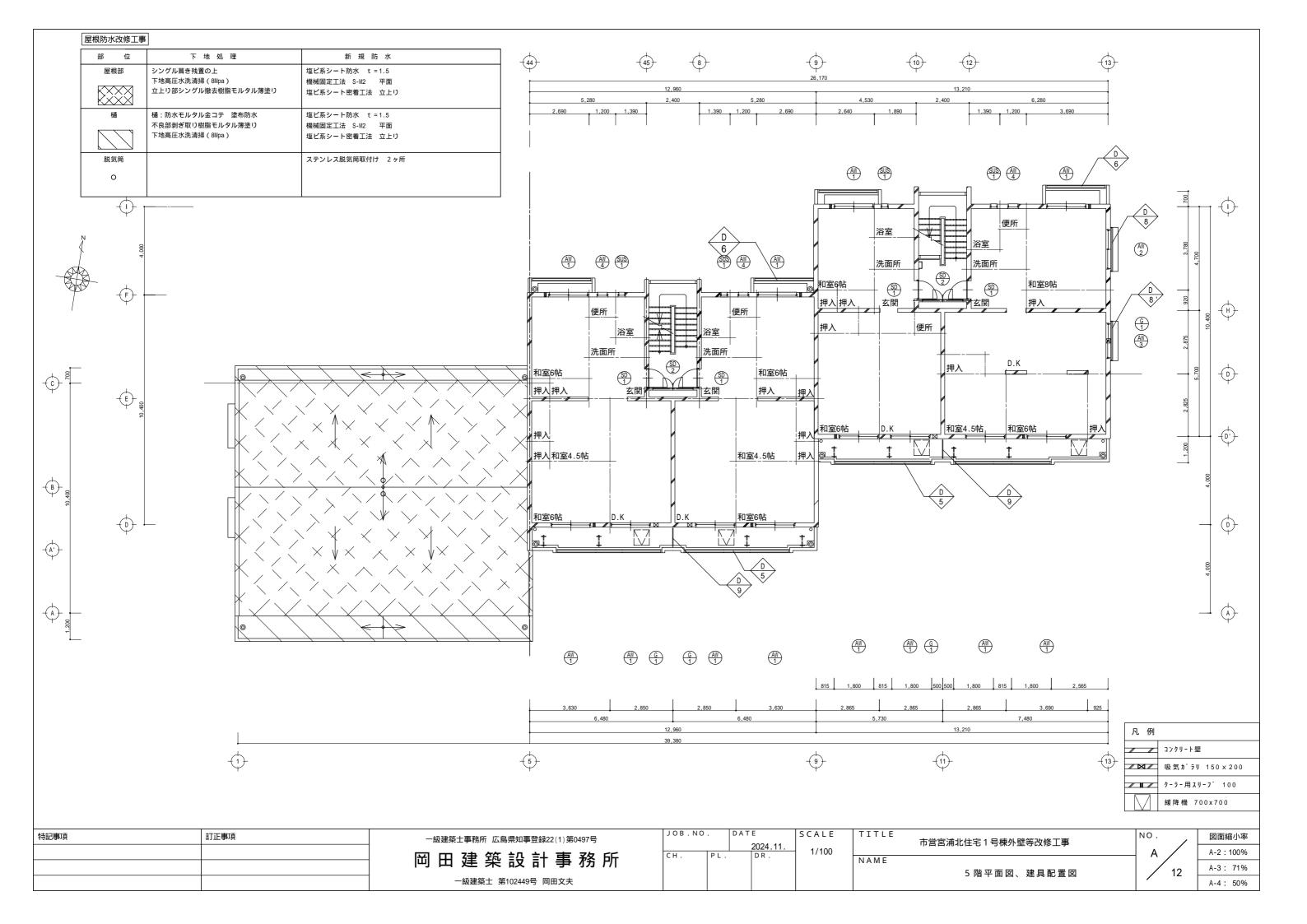
JOB. NO.		DAT	E	SCAL
			2024. 11.	
CH.	PL.		DR.	

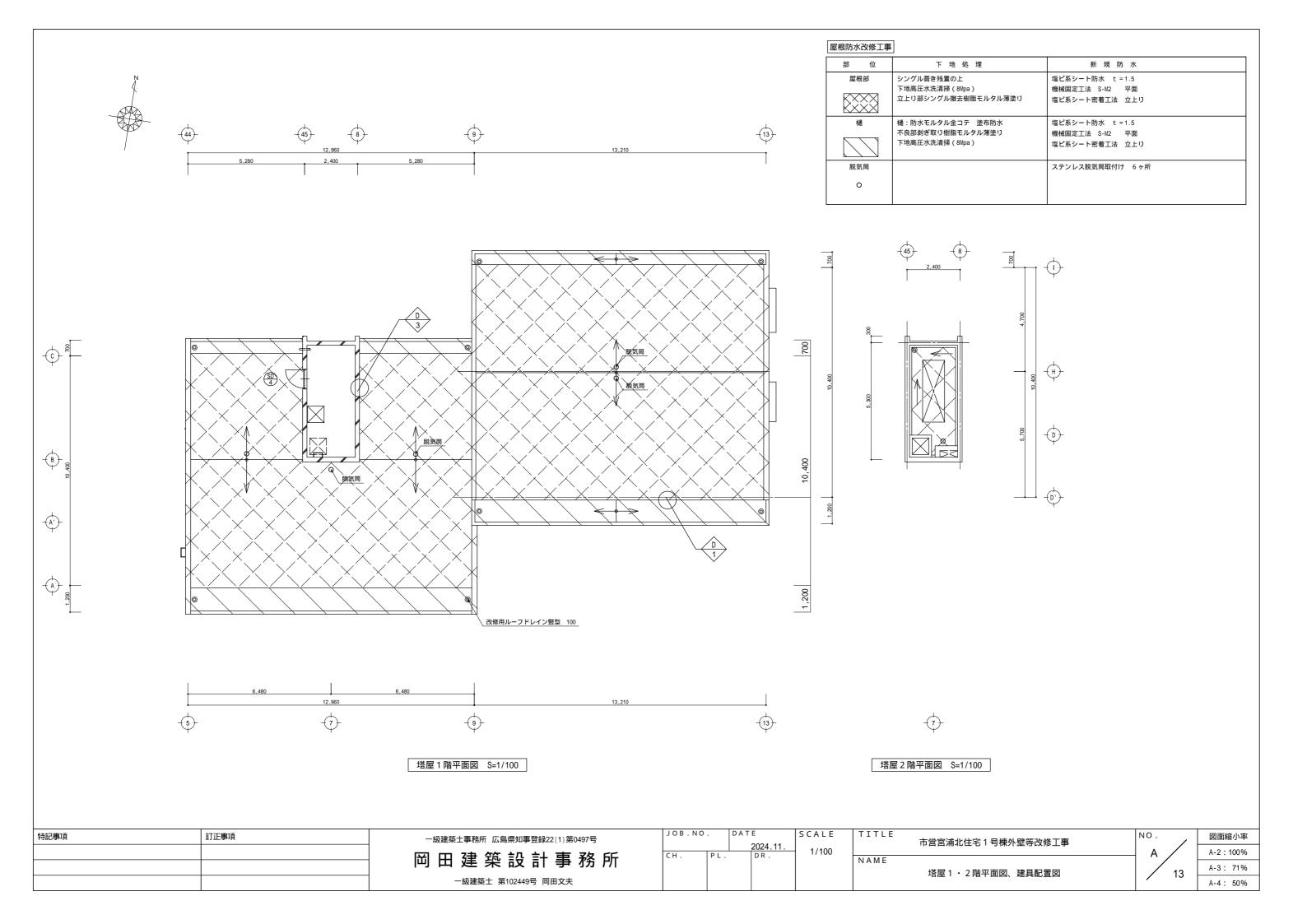
TITLE	市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事	
NAME		
	从邹什上事	

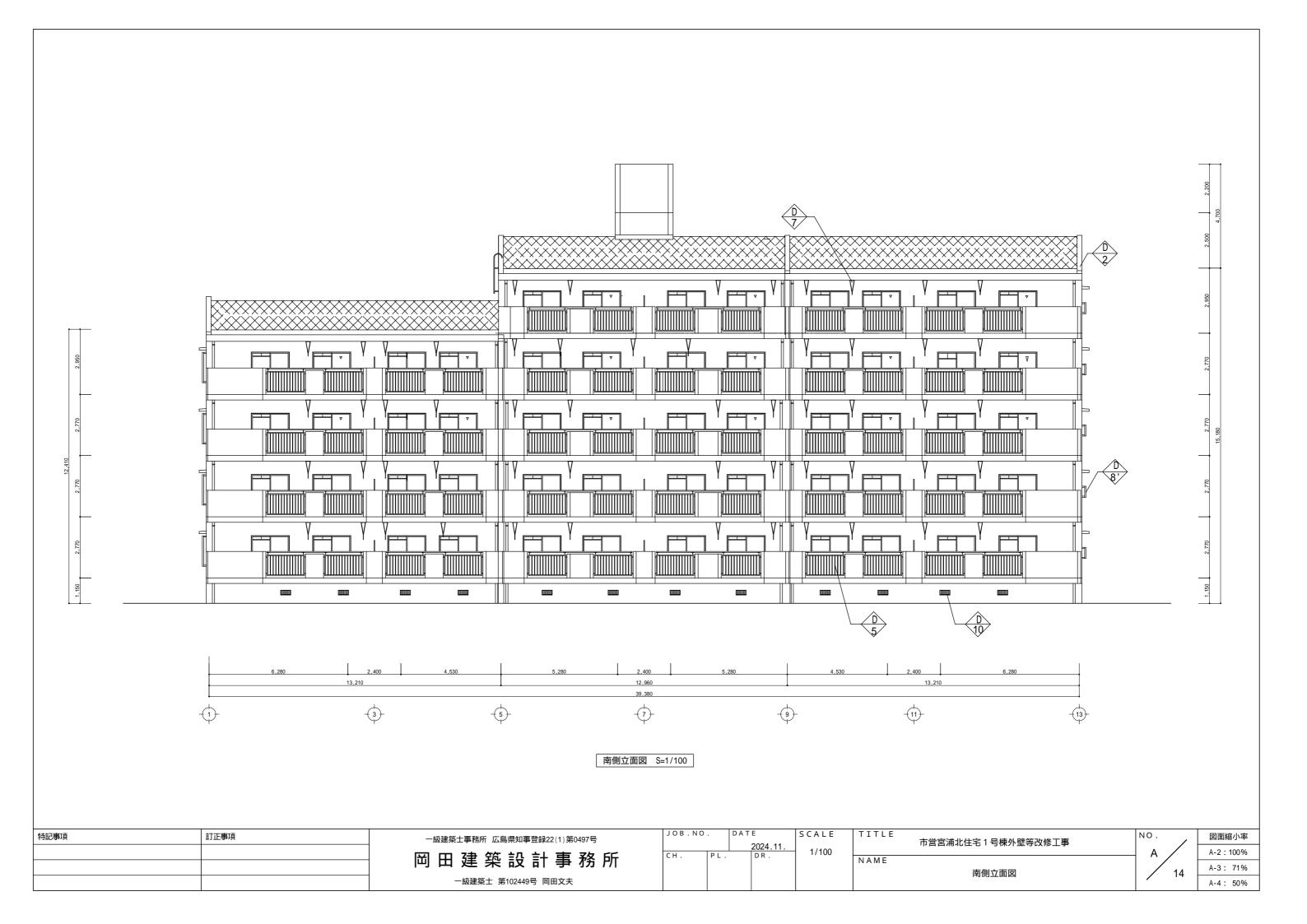
図面縮小率

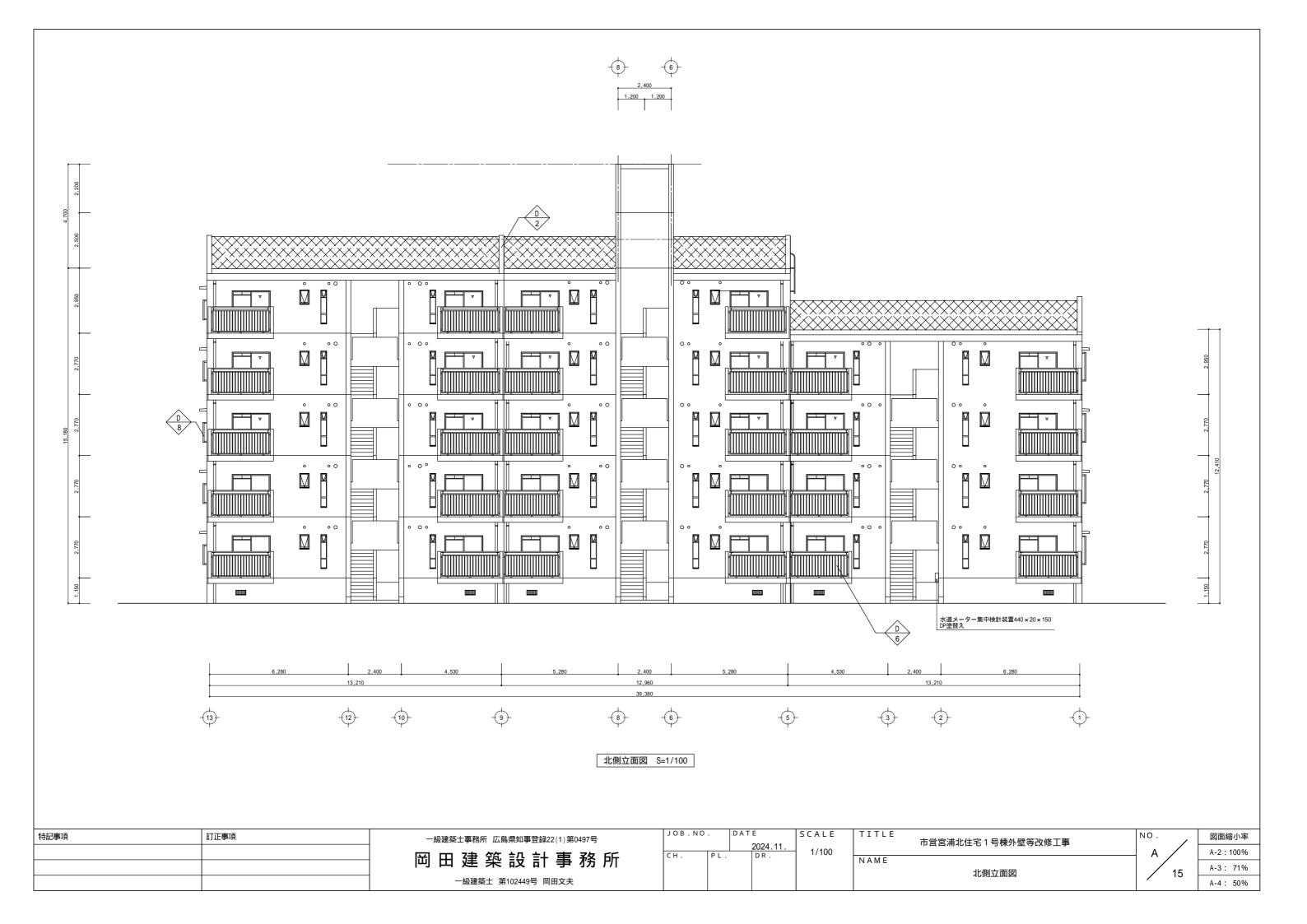
	A-2 : 100%
10	A-3 : 71%
. •	A-4 · 50%

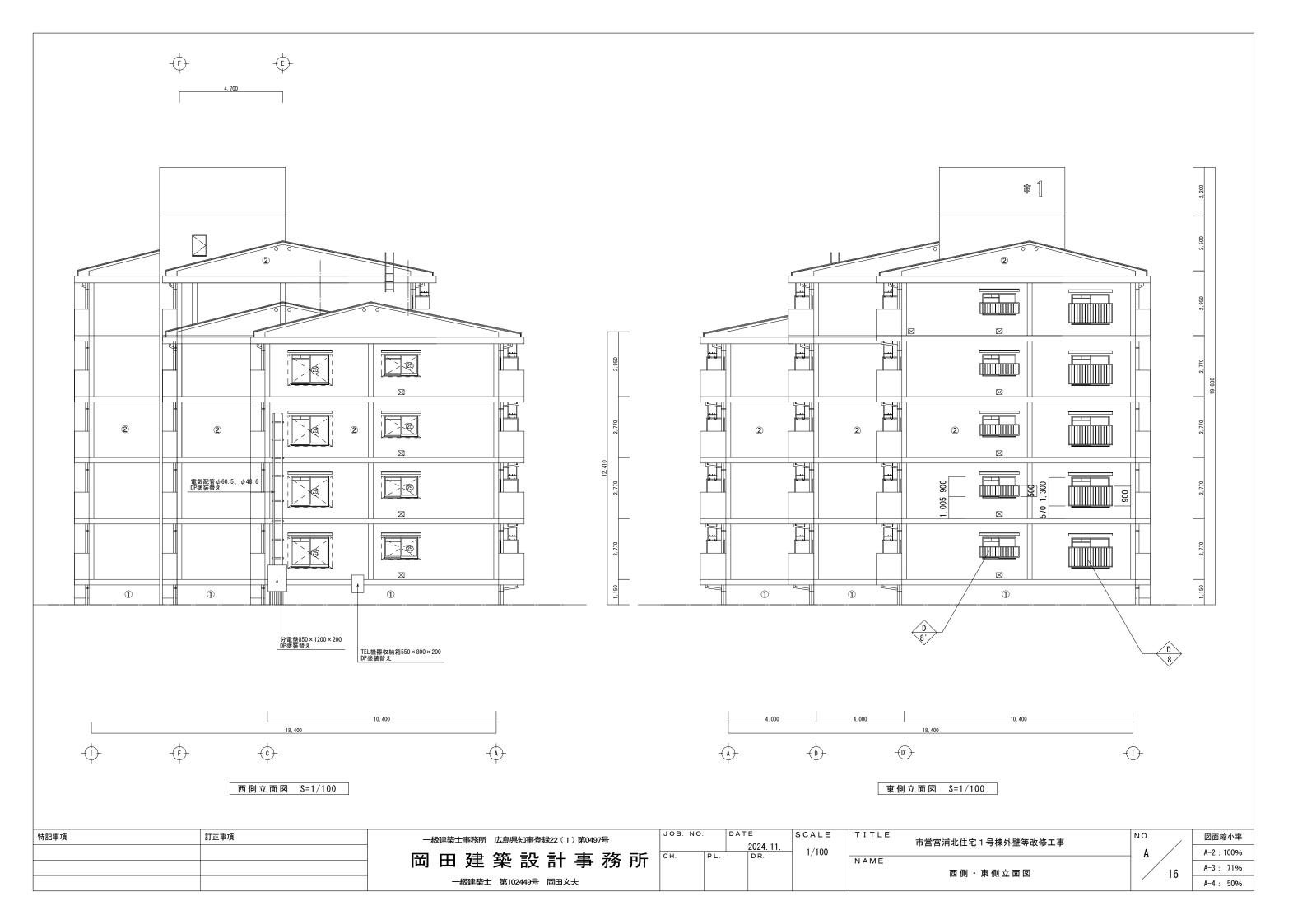


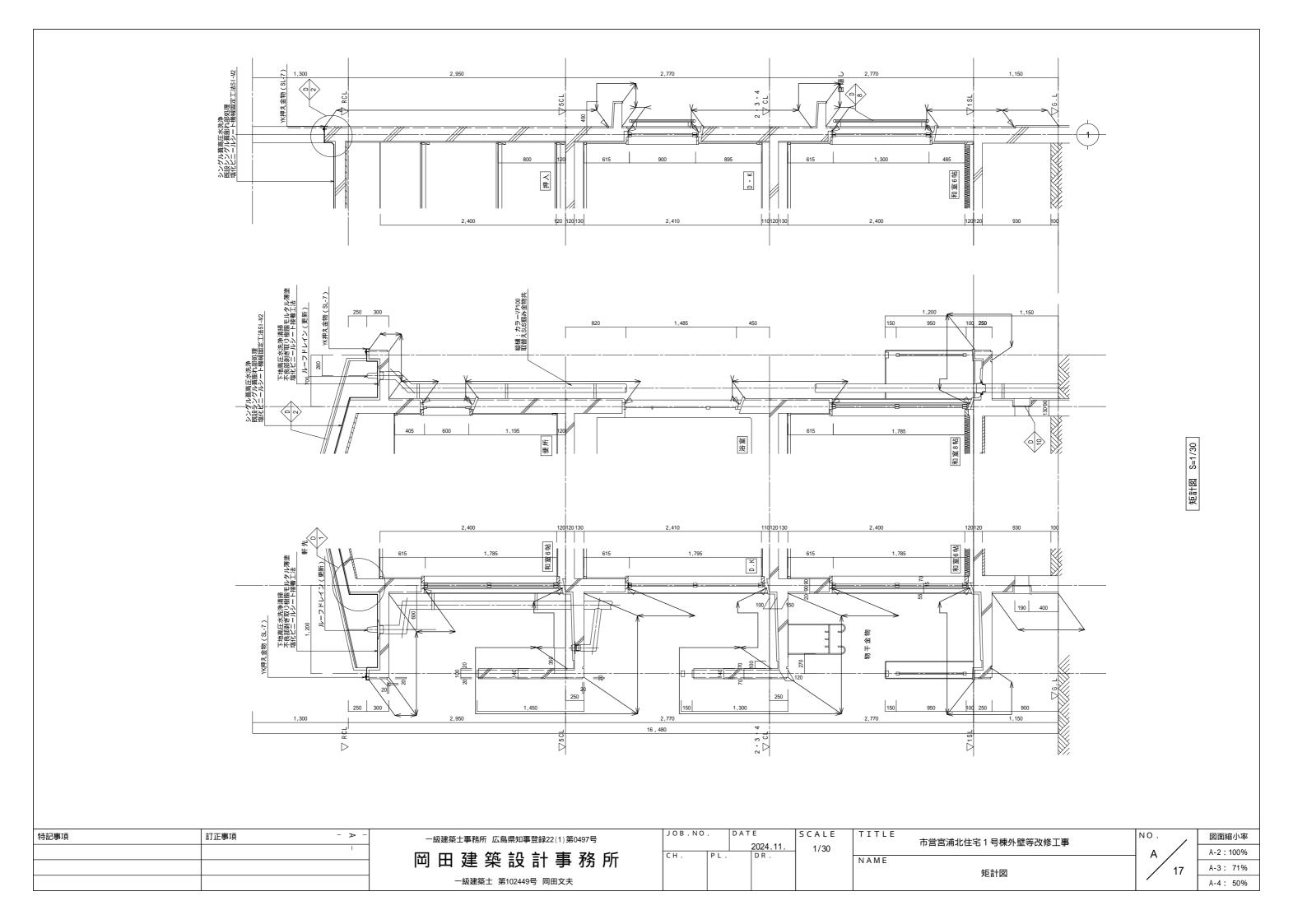


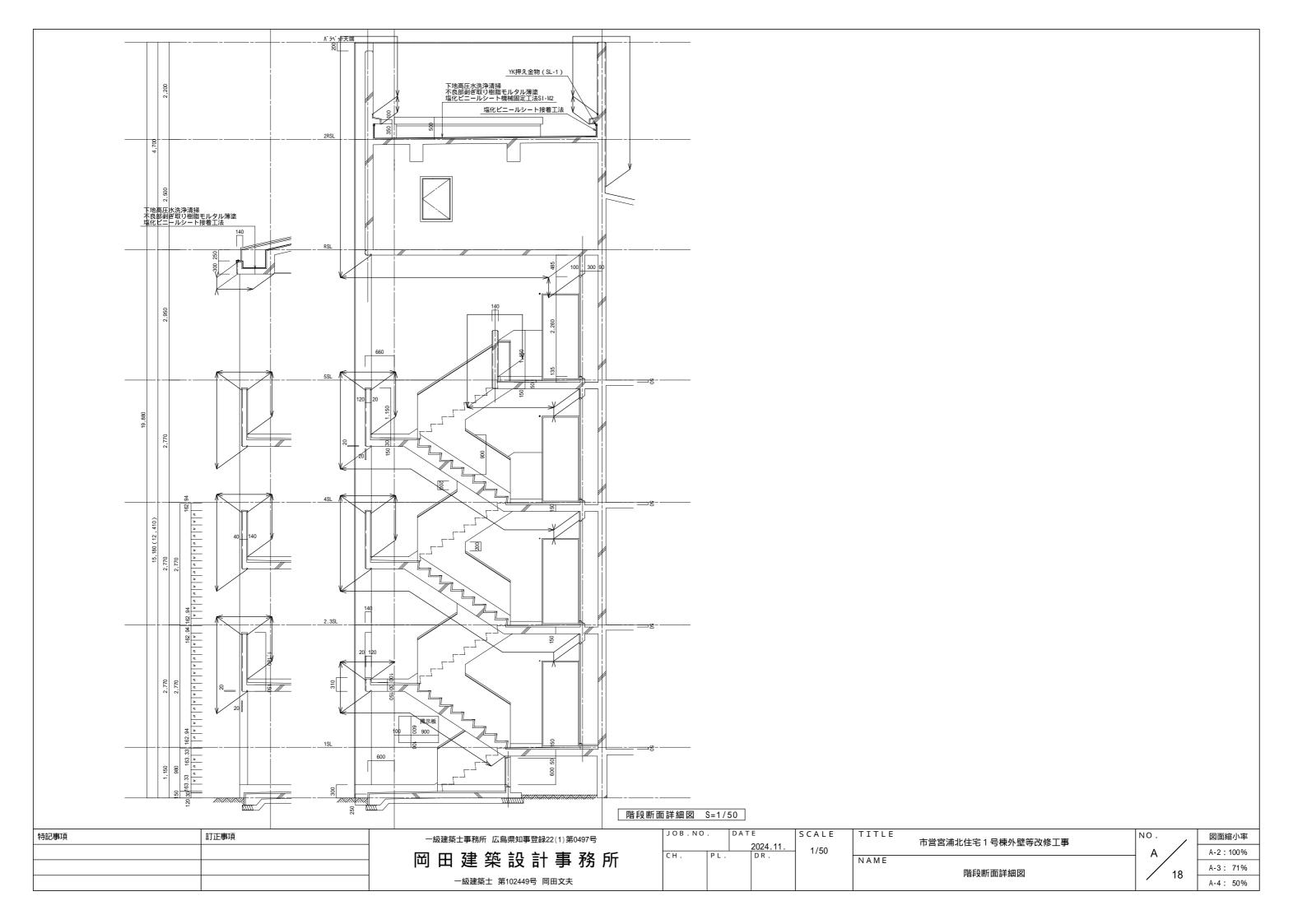


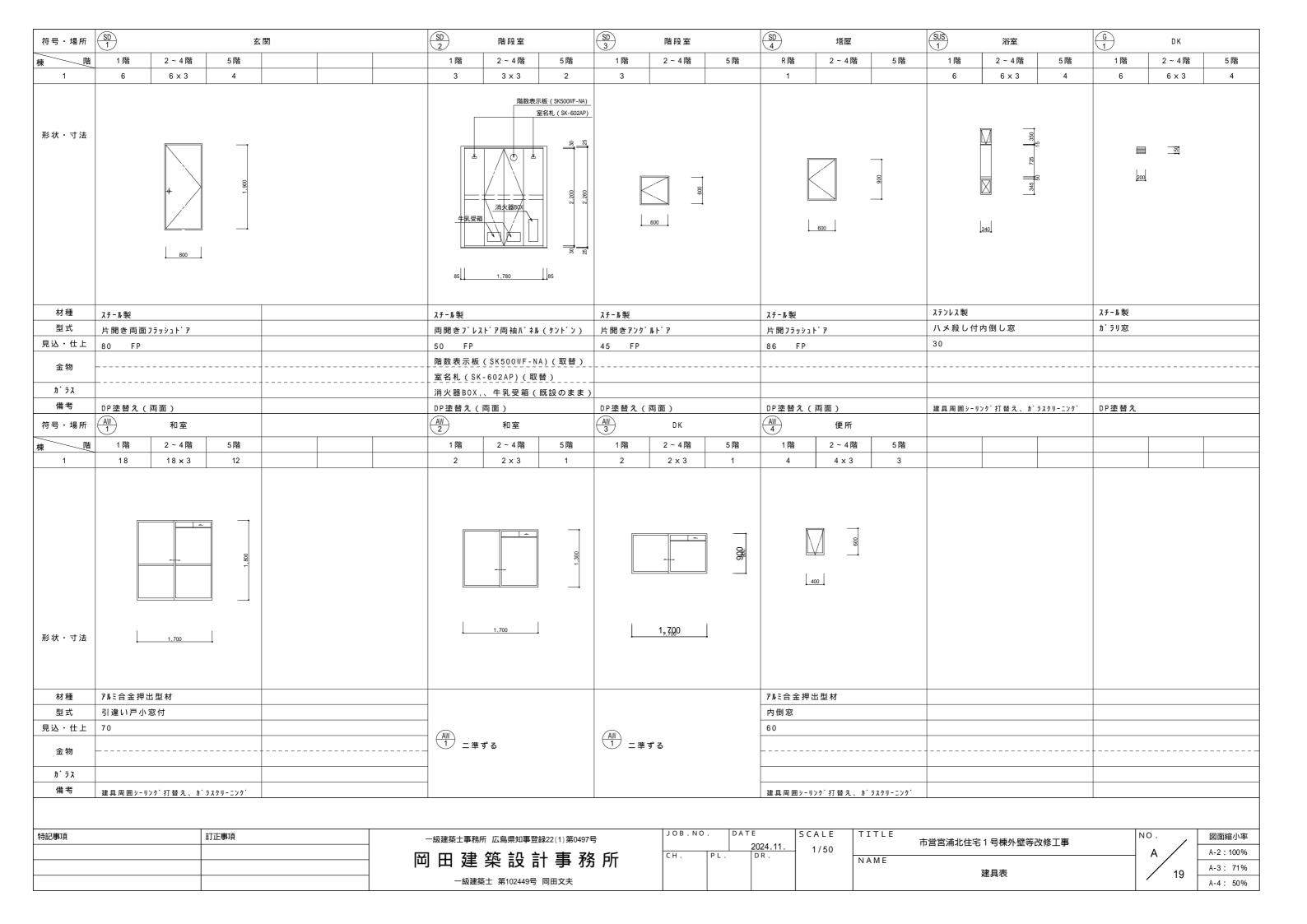


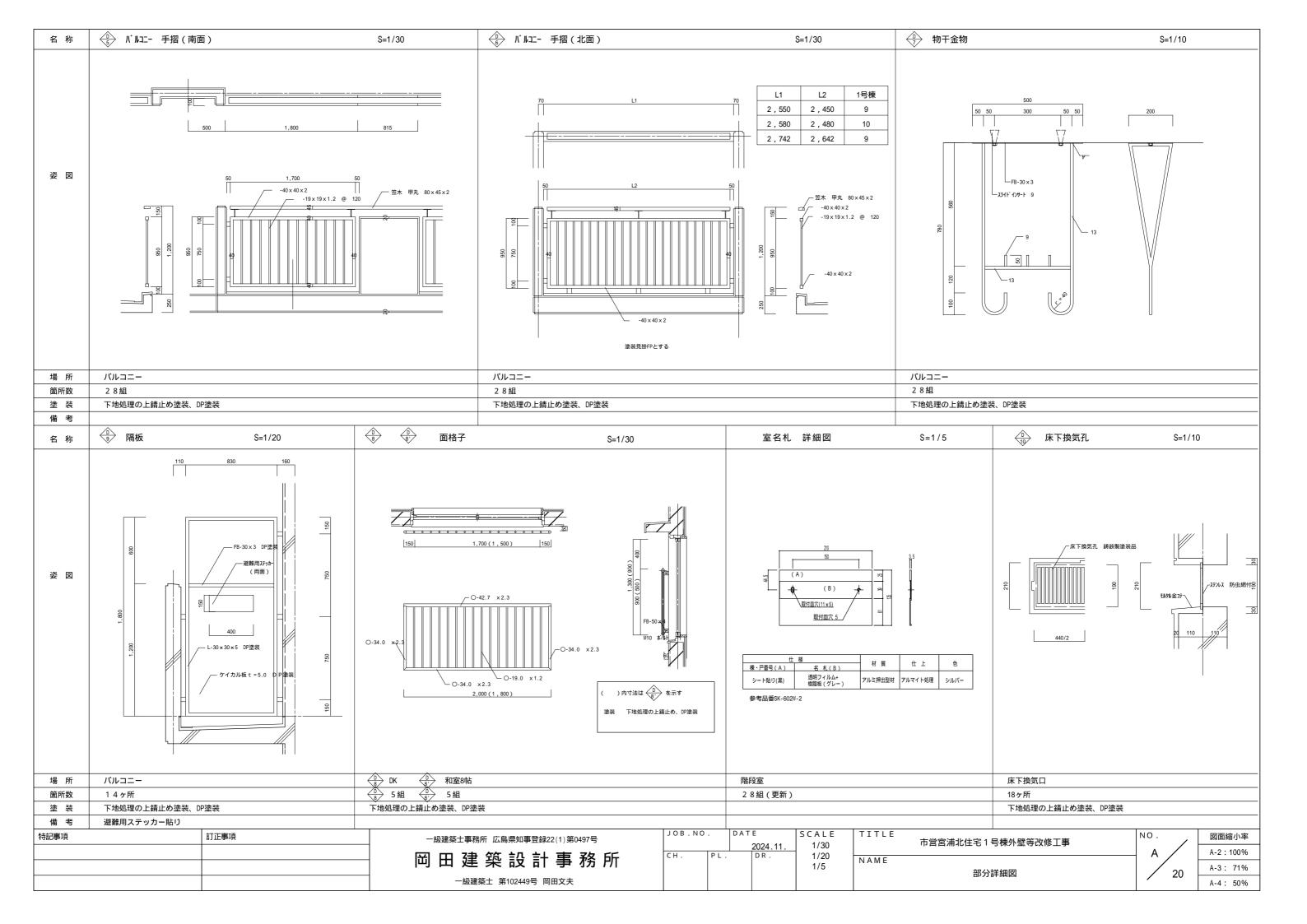


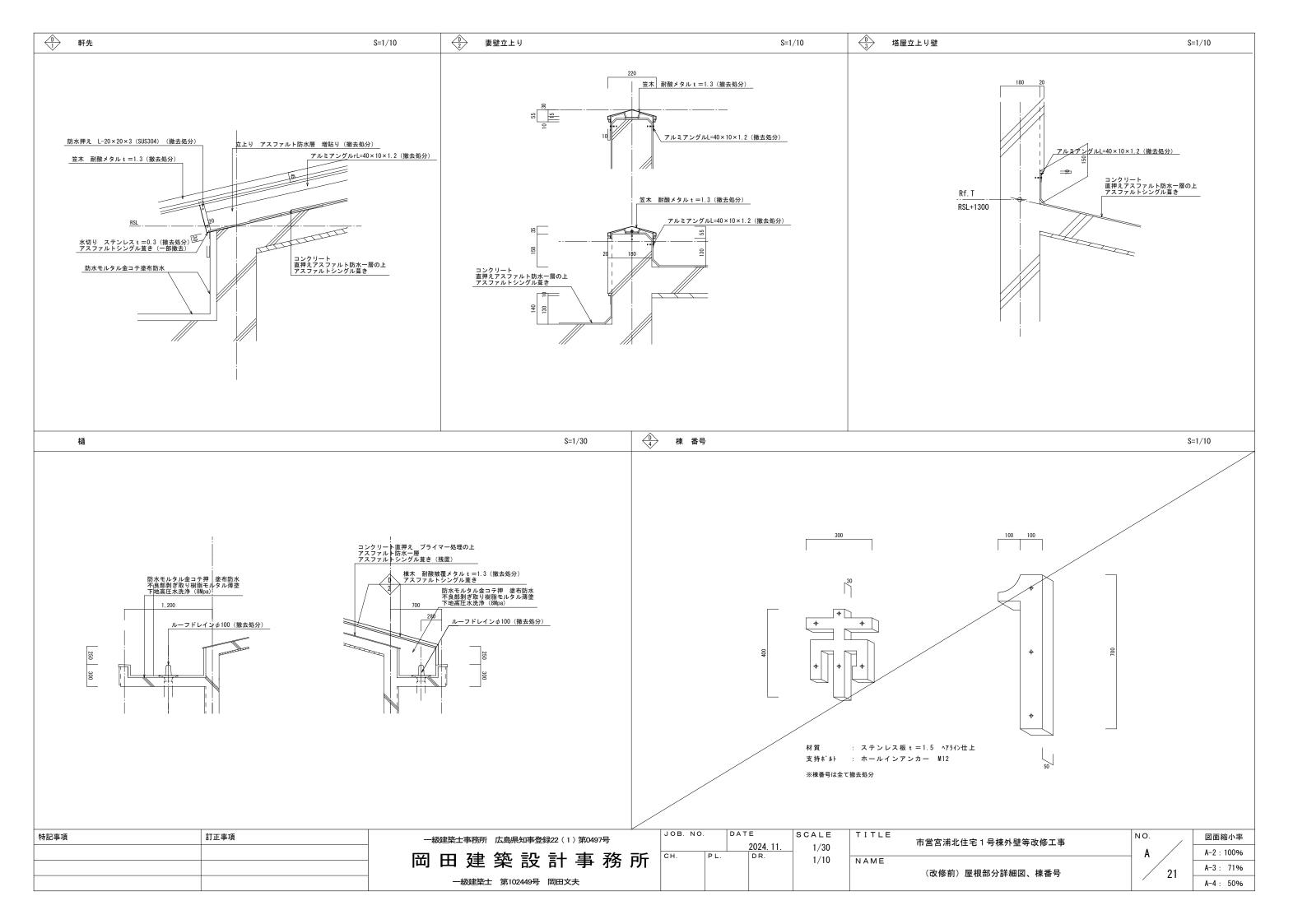


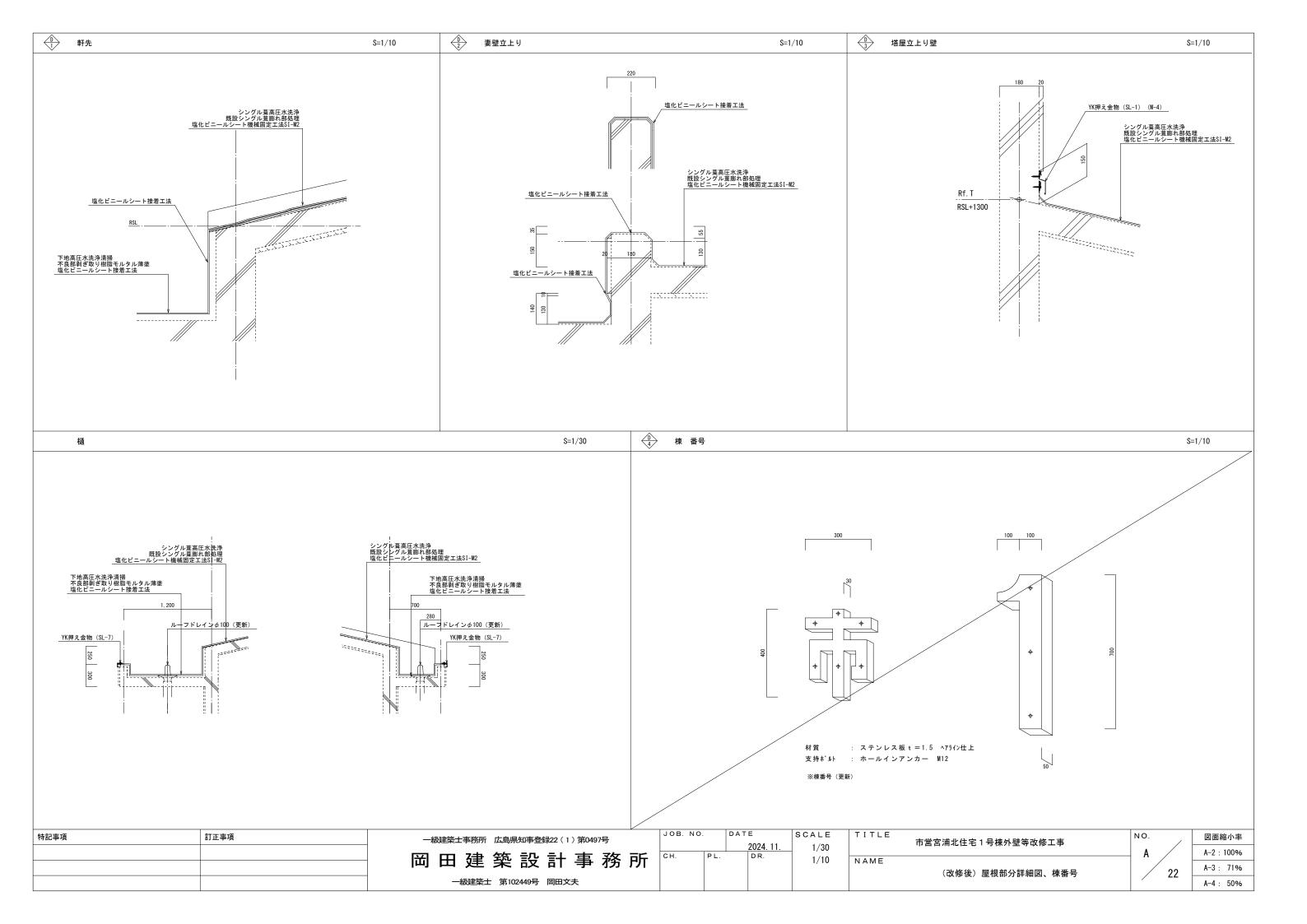


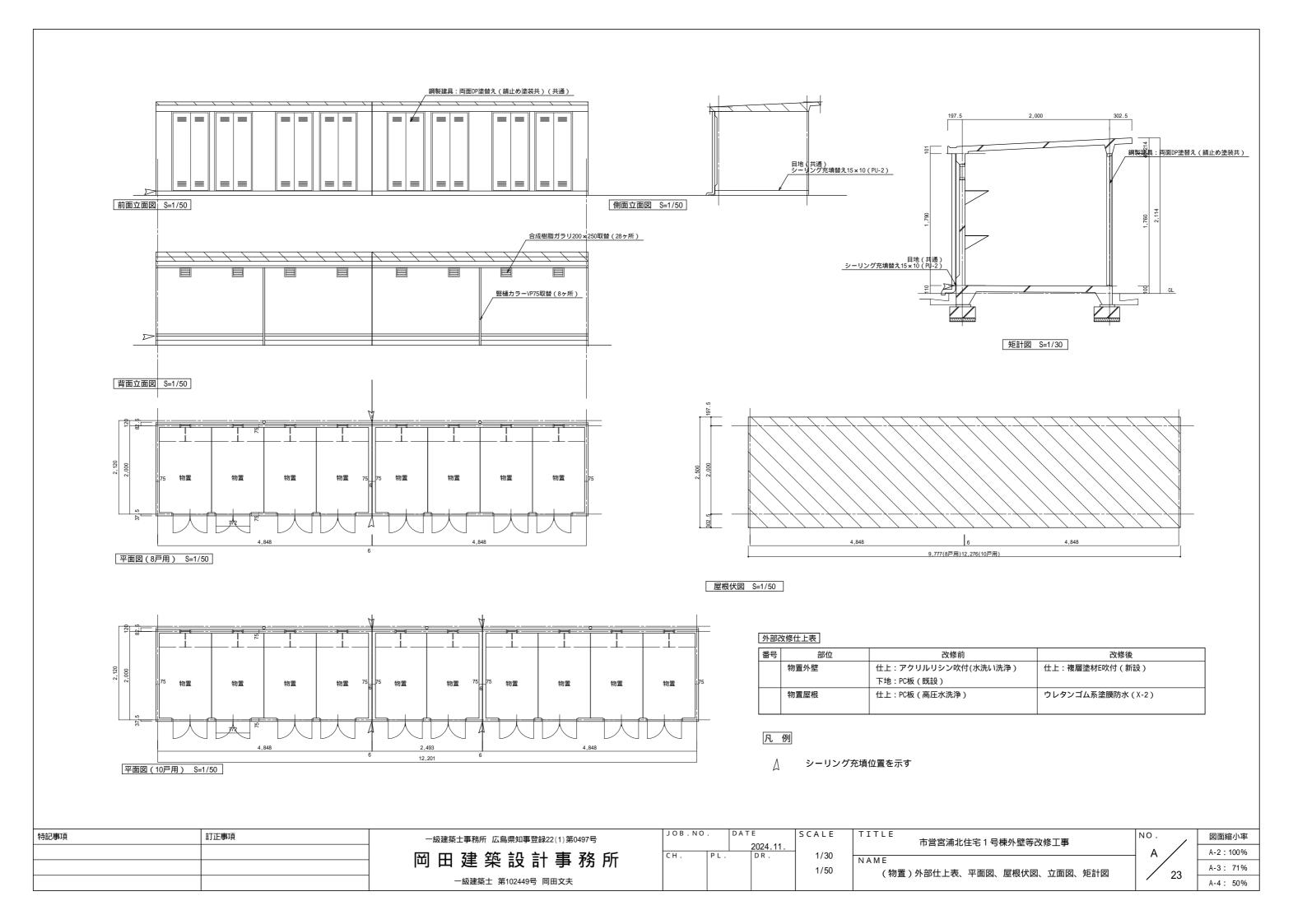


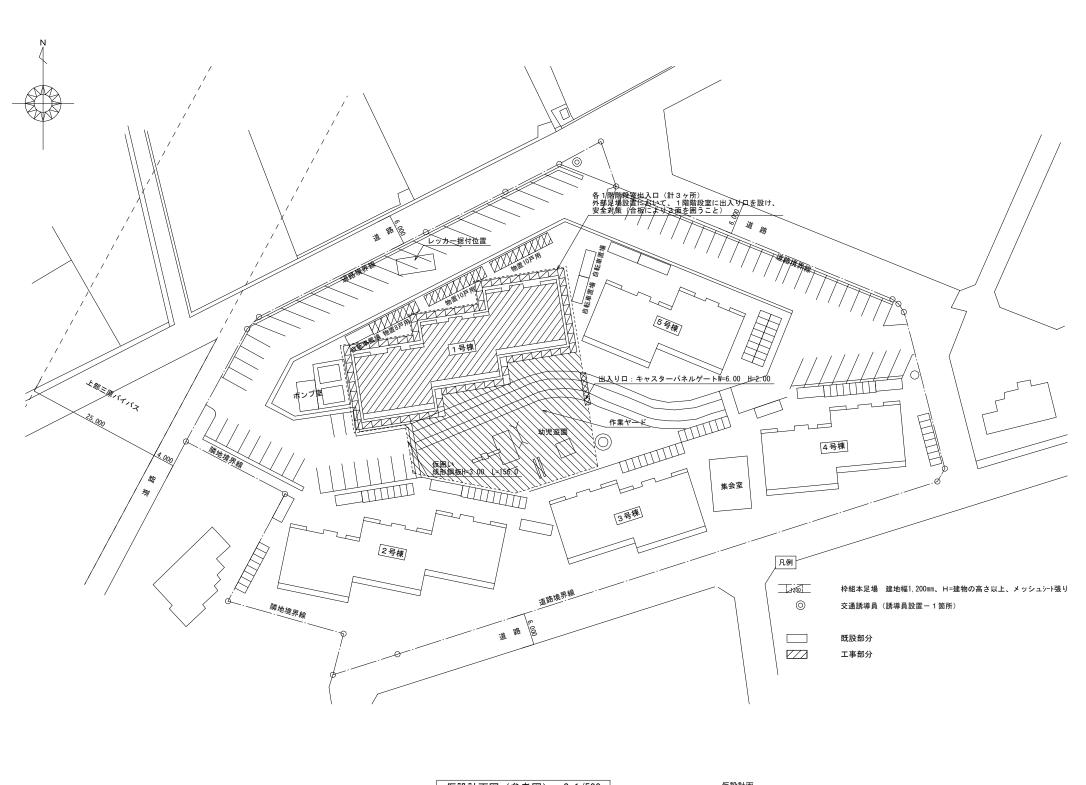












仮設計画図(参考図) S=1/500

仮設計画

- ・資材置き場等については、別途監督員と協議すること。
- ・工事用車両の駐車については、仮設計画図による他、別途監督員と協議すること。
- ・階段部 通路を設ける(玄関まで)

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号	JOB. NO.	DAT		SCALE	TITLE	市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
			СН	D I	2024. 11.	1/500		川呂呂州北住七十万株 が至寺以修工事	_ A /	A-2 : 100%
		岡田建築設計事務所	Сн.	PL.	DR.		NAME		7 ~/	A-3 : 71%
								仮設計画図 (参考図)	24	
		一級建築士 第102449号 岡田文夫								A-4 : 50%

<i>一</i> 少	参	考		数	量	書
------------	---	---	--	---	---	---

	参考数量書
工事名称	市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事
工事場所	三原市宮浦一丁目
[工 事 概 要]	
用途、構造、面積	市営住宅、鉄筋コンクリート造5階建て、延床面積1,896.57㎡
工事範囲	改修工事一式 (建築主体工事)
別途発注工事	無し
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和8年2月26日
一般事項	
《 工事予算内訳 》	合 計 金 額
〈内 訳〉	
区 分	金 額 概 要
設計 金額	
消費税額	
合 計 金 額	

工事費内訳

名	称	数	量	単 位	金	額	備	考
直接工事費								
建築工事								
			1	式				
計								
共通費								
共通仮設費			-					
			1	式				
現場管理費			1	式				
一般管理費等			1					
計				式				
工事価格			1					
消費税等相当額				式				
			1	式			消費税率 10 %	
工事費			1	式				
				14				

工事種別内訳

名		数	量	単位	金	 額	備	考
建築工事			1	式				
th I	r							

建築工事 種目別内訳

名 物外部改修	称	数	量	単 位	金	額	備	考
物外部改修			1					
=1				式				
計	•							

建築工事 科目別内訳

建物外部改修 名		数	量	単位	金	 額	備	考
外壁改修工事	1.4	<i></i>		1 1-2		P/1	VIII	<u> </u>
			1	式				
屋根防水改修工事			1					
べうンダ防水改修工事				式				
· /// 內小以修工事			1	, .				
物置屋根、外壁改修工事				式				
			1	式				
手摺等改修工事			1					
※※※※※※※			1	式				
縦樋取替工事			1					
その他改修工事				式				
			1	式				
建具改修工事			1					
発生材運搬処分				式				
光生的 建帧处置			1					
計				式				

建築工事 細目別内訳

建物外部改修			外壁改修工事	F						
名称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
(直接仮設)										
枠組本足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含 22m未満 5階建 建築品	面積2,000㎡	2, 00)1 m²						
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含	Î.	17	76 m²						
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含 建築面積2,000㎡	含む	14							
養生シート張り	建築面積2,000㎡ 防炎性能 JIS A 8952 RC造標準日数 修理費含 建築面積 750㎡	I 類 さむ 5階建	2, 00)1 m²						
養生(外壁改修)			27							
養生	一般 RC·SRC造 外部階段		17							
整理清掃後片付け (外壁改修)			27							
整理清掃 後片付け	一般 RC·SRC造 外部階段		17							
出入口養生	階段室開口部 周囲合	板張り	2	20. 9 m²						
仮設材運搬				1 式					別紙 00-0001	
(外壁改修)										
複層塗材 E (アクリルタイル) (基準単価)	凸部処理 吹付け 下 基層塗1回・模様塗1回・ 上塗2回 水系アクリルつや		2, 54	19 m²						
下地調整費	モルタル・フ。ラスター		2, 54							
既存仕上材サンダーケ レン			2, 54	19 m²						

建築工事 細目別内訳

建物外部	改修		外壁改修工事									
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
高圧水洗浄		150~200kg/cm2			2, 549	m²						
(天井改修))											
外装薄塗材		ALCパネル面 砂壁状 吹作 下地調整費(E)共	けけ		33. 7	m²						
高圧水洗浄		150~200kg/cm2			33. 7	m²						
外装薄塗材		コンクリート面 砂壁状 吹作 下地調整費(C-1)共	けけ		372	m²						
高圧水洗浄		150~200kg/cm2			372	m²						
(窓庇)												
窓庇 塗膜防水		ウレタンコ゛ム系 X-2			31. 7	m²						
窓台 塗膜防水		ウレタンコ゛ム系 X−2			28. 7	m²						
高圧洗浄					60. 4	m²						
下地調整費		モルタル・プ。ラスター			60. 4	m²						
床下換気口 DP塗り		鉄面 錆止め共			1	式					別紙 00-0003	
(補修)												
C-1 クラック部打放 ^{\\} ビ鉄筋処理	し面サ				12	m						
D-1 モルタル面はつ					4	m²						

建築工事 細目別内訳

建物外部改修	<u> </u>	外壁改修工事									
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
E — 2 汀放し部欠損部処 ^押	ポリマーセメント			5	m²						
里 (シーリンク゛補修)					111						
「継目地 /ーリング				177	m						
上見切 ⁄ーリング				354	m						
ーリング撤去	集積共			1, 131	m						
計											

建物外部改修	<u>//四口刀打了的</u> (屋根防水	改修工	事						
名	游 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
(直接仮設)											
養生 (屋上防水改修)	露出防水·簡易防	方水(塗膜・シート)		575	m²						
整理清掃後片付(屋上防水改修)	け 露出防水・簡易防	5水(塗膜・シート)		575	m²						
(防水)											
屋根面 塩ビ系シート防水	t=1.5 機械固 S-M2 密着工法	定工法		421	m²						
立上り 塩ビ系シート防水	t =1.5 S-M2 接着工法			16.8	m²						
笠木天端 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法			12. 1	m²						
屋根樋床 塩ビ系シート防水	t=1.5 機械固 S-M2 密着工法	定工法		57.9	m²						
立上り 塩ビ系シート防水	t =1.5 S-M2 接着工法			42. 2	m²						
笠木天端 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法			12. 2	m²						
防水押え金物	SL1 M4			30. 3	m						
防水押え金物	SL7			177	m						
脱気筒	ステンレス製			8	か所						
(既存面補修)					~ //						
既存面 高圧水洗浄工法	床面(既存面)			421	m²						

建物外部改修			屋根防水	、改修工	事						
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
既存面 高圧水洗浄工法	床面(既存撤去面)			57. 9	m²						
既存面 高圧水洗浄工法	立上り			59	m²						
既存面 高圧水洗浄工法	笠木天端			24. 3	m²						
下地 樹脂モルタル薄塗リ	平面			479	m²						
下地 樹脂モルタル薄塗リ	立上り			59	m²						
下地 樹脂モルタル薄塗リ	笠木天端			24. 3	m²						
(既存撤去処分)											
既存シングル葺き撤去	床面(141m2)			1	式						
金属笠木撤去				65. 6	m						
水切り撤去				281	m						
計					III						

建物外部改修			へ゛ランタ゛[5]	方水改修	江事						
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
(直接仮設)											
養生 (屋上防水改修)	露出防水·簡易防水(312	m²						
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水·簡易防水(塗膜・シート)		312	m²						
(防水)											
庇床 塗膜防水	ポリマーセメント系 (PA-1)			141	m²						
立上り 塗膜防水	ポリマーセメント系 (PA-1)			35. 4							
(既存面補修)											
既存面 高圧水洗浄工法	床・立上り面(既存	面)		177	m²						
(シーリング補修)											
仕上見切 シーリング				269	m						
シーリンク゛撤去	集積共			269	m						
計											

建物外部改修	<u>加口刀IPID(</u> 冬		物置屋框	人外壁	改修工事						
名	旅 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
(直接仮設)											
枠組本足場 (手すり先行方式	C) RC造標準日数 修理費 22m未満 5階建 建築	面積2.000㎡		187	m²						
養生シート張り	防炎性能 JIS A 8952 RC造標準日数 修理費 建築面積 750㎡	2 I 類 含む 5階建		187	m²						
養生(外壁改修)				190	m²						
養生 (屋上防水改修)	露出防水·簡易防水(金膜・シート)		85. 9							
整理清掃後片付((外壁改修)	it			190	m²						
整理清掃後片付((屋上防水改修)	オ 露出防水・簡易防水(金膜・シート)		85. 9							
仮設材運搬				1	式						
(外壁改修)											
複層塗材 E (アクリルタイル) (基準単価)	凸部処理 吹付け 基層塗1回・模様塗1回 上塗2回 水系アクリルつ	•		120	m²						
下地調整費	モルタル・プ。ラスター			120	m²						
既存仕上材サンダー レン				120	m²						
高圧水洗浄	150~200kg/cm2			120	m²						
(屋根防水)											
屋根 塗膜防水	ウレタンコ゛ム系 X-2			94. 2	m²						

建物外部改修			物置屋根	·、外壁	改修工事						
名称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
高圧水洗浄工法	床面 (既存面)			94. 2	m²						
(シーリング補修)											
シーリンク゛	一般部 ポリウレタン系(PU 15×10	-2)		81. 2	m						
シーリングが撤去	集積共			81. 2							
(塗装)											
鋼製建具 DP塗り	鋼製建具面 錆止め共			1	式					別紙 00-0008	
(その他)											
合成樹脂ガラリ	200×250 既存撤去の上新設			12	か所						
縦樋	カラ-VP75φ 既存撤去の上新設			81. 4							
計											

建物外部		コ <i>カ</i> リド 1 p/く		手摺等改	修工事							
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
(塗装)												
鉄面 DP塗り	金金	鋼製手摺り 青止め共			1						別紙 00-0013	
ごート`面 P塗り	以	鬲て板 青止め共			1	式式					別紙 00-0014	
(その他)												
隔て板	ケ	イカル板 厚5.0			20. 9	m²						
避難用ステッカー		.00×150			28	か所						
既存隔て板 ボード撤去					20.9							
計						111						

建物外部。	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			縦樋取犁	下工事							
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
縦樋	カラーVP10 既存撤	00 φ 去の上新設			175	m						
掴み金物					139	m						
縦樋	カラーVP75 既存撤	iφ 去の上新設			39. 2							
縦樋保護管	GP125 φ 既存撤	去の上新設			6	か所						
ルーフト゛レイン	100 φ 既存撤	縦型 去の上新設			13	か所						
中間ドレイン	100 φ 既存撤	縦型 去の上新設			56	か所						
計						73-191						

	部改修	<u> </u>		その他改	(修工事							
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
目隠し		アルミパネル 一時撤去、再取付			1	か所						
空調機	(床置き)	既存脱着 (工事後作動確認)			29	か所						
BSアンテナ		一時撤去後再取付			4	か所						
	計											

建物外部改	<u> </u>		建具改修	工事							
	称 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
建具周囲シーリンク	,			1, 029	m						
既存ガラスクリーニン				305	m²						
鋼製建具 DP塗り	鋼製建具面 錆止め共			1	式					別紙 00-0018	
シーリンク゛撤去	集積共			1, 029	m						
計											

建物外部改修	*		発生材道	E搬処分							
名	东 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
(積込み)											
発生材積込み	プ。ラスチック			1.8	m3						
発生材積込み	不燃がう			0.1	m3						
(運搬)											
発生材運搬	プ [°] ラスチック			1.8	m3						
発生材運搬	不燃力;			0. 1	m3						
(処分)											
発生材処分	フ [°] ラスチック			2. 5	t						
発生材処分	不燃加ラ			0.2							
(スクラップ)											
スクラップ	鉄くず			0. 11	t						
スクラップ	アルミくず			32	kg						
計											

建物外部改作	<u></u>		外壁改修	了工事							
名	称 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
反設材運搬				4						別紙 00-0001	
				1	式						
仮設材運搬 (枠組本足場)	建枠幅900(二档	(右)		2,001							
(手すり先行方式	式)			2,001	m²						
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	5階建			176	m²						
反設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)		144							
					m						
(シート・ネット類)				2,001	m²						
計											
末下換気口	鉄面									別紙 00-0003	
P塗り	錆止め共			1	式						
tr゛落とし(m2)				2. 5							
素地ごしらえ	 鉄鋼面 工程B種			2. 5	m²						
A Lot AV Co Lab				2.0	m²						
請止め塗料塗り	鉄鋼面(屋内外 塗料A種(鉛・クロ 1回目別途) 工程A種 ムフリー1種)現場2回目		2.5	m²						
P塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっ	き鋼・鋼製建具面 っえ及び下塗り別途		2. 5							
計					111						

建物外部改作	<u> </u>		ļ	物置屋根	、外壁	改修工事						
名 1	弥 摘	-	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
仮設材運搬					1	式					別紙 00-0009	
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式	建枠幅900(二	(枚布)			187	m²						
仮設材運搬 (シート・ネット類)					187	m²						
計												
鋼製建具 DP塗り	鋼製建具面 錆止め共				1	式					別紙 00-0008	
サビ落とし(m2)					110	m²						
素地ごしらえ	鉄鋼面 工程B種				110	m²						
錆止め塗料塗り	塗料A種(鉛・) 1回目別途	/ロムフリー1種) 現場	程A種 第2回目		110	m²						
DP塗り	鋼製建具面	1級 .及び下塗り別途	<u>¥</u>		110	m²						
計												

建物外部改修			手摺等改	文修工事	-						
名 称		要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
鉄面 DP塗り	鋼製手摺り 錆止め共			1	式					別紙 00-0013	
t゛落とし(m2)				339	m²						
素地ごしらえ	鉄鋼面 工程B種			339	m²						
淸止め塗り 〔現場1回〕 〔基準単価〕	鉄鋼面(屋内外) 塗料A種 工程A和	種		339	m²						
P塗り 基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっき 1級 素地ごしら	き鋼・鋼製建具面 え及び下塗り別途		339	m²						
計											
ボード面 DP塗り	隔て板 錆止め共			1	式					別紙 00-0014	
下地調整 改修仕様	ボード面 RB種(塗替え面))		41.8							
素地ごしらえ (基準単価)	*゛ート゛面	工程B種		41.8							
P塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっる 1級 素地ごしら	き鋼・鋼製建具面 っえ及び下塗り別途		41.8							
計											

建物外部改	修			建具改修	江事							
	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
剛製建具 P塗り		鋼製建具面 錆止め共			1	式					別紙 00-0018	
ビ落とし(m2)					302	m²						
地ごしらえ		鉄鋼面 工程B種			302	m²						
青止め塗料塗)	鉄鋼面(屋内外) 塗料A種(鉛・クロムフリー1種 1回目別途 鋼製建具面 1級	工程A種 重)現場2回目		302	m²						
P塗り		鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗	きり別途		302	m²						
計												

共通仮設費(積上) 明細

名 移		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
仮囲い	成型鋼板 H=3.0			150	m						
出入口	キャスターハ [°] ネルケ [*] ート W6. 0 H2. 0			1	か所						
交通誘導員				20							
計					人						

現場管理費(積上) 明細

											·	·
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
工事中情報共 ステム	有シ				1							
計						式						